



KONICA MINOLTA

ライセンスキット LK-114

ユーザーズガイド

目次

1 概要

1.1 ユビキタスプリントについて	1-1
1.1.1 準備確認（管理者用）	1-3
1.1.2 運用までの流れ（管理者用）	1-3
事前準備	1-3
ユビキタスグループの作成	1-3
ユビキタスプリントの設定	1-3
ショートカットキーの追加	1-4
プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort の インストール	1-4
1.2 必要なシステム環境	1-5
プリンタードライバー（PCL ドライバー、PS ドライバー）	1-5
LK-114_ManagerPort	1-5
LK-114_InstallTool	1-6
LK-114_InstallerCreateTool（管理者用）	1-7
LK-114_SetupTool（管理者用）	1-8
LK-114_Editor for SetupTool（管理者用）	1-9
Driver Packaging Utility（管理者用）	1-10
1.3 制限事項	1-11

2 事前準備（管理者用）

2.1 本体の設定	2-1
2.1.1 OpenAPI の機能を有効にする	2-1
2.1.2 認証設定	2-1
2.2 異なる機種でユビキタスグループを構成する場合	2-3
2.2.1 プリント簡易認証を設定する	2-3
本体の操作パネルから設定する場合	2-3
PageScope Data Administrator から設定する場合	2-3
2.3 i-Option のライセンス登録	2-4

3 ユビキタスグループの作成（管理者用）

3.1 LK-114_SetupTool について	3-2
NetBIOS の設定について	3-2
3.1.1 LK-114_SetupTool の起動と画面	3-4
アイコンの種類	3-5

3.1.2	本体を検索する	3-6
	本体を検索する	3-6
3.1.3	管理者設定をする	3-6
	管理者設定の手順	3-7
3.2	ユビキタスグループを作成する	3-8
	ユビキタスグループ作成の手順	3-8
3.3	ユビキタスグループの構成を変更する	3-11
	ユビキタスグループ構成変更の手順	3-11
3.4	ユビキタスグループを削除する	3-14
	ユビキタスグループ削除の手順	3-14
3.5	ユビキタスグループ設定を同期する	3-16
	ユビキタスグループ設定の同期手順	3-17
3.6	ユビキタスプリント設定の設定値を同期する	3-18
	ユビキタスプリント設定の同期手順	3-19
3.7	ユビキタスプリントの設定を変更する	3-21
	ユビキタスプリント設定の変更手順	3-21
3.8	本体の設定を一括で更新する	3-23
3.9	電源 OFF の本体を管理する	3-24
	ユビキタスグループから本体を削除する	3-24
	ユビキタスグループに本体を復帰させる	3-24
3.10	ユビキタスグループ情報を管理する	3-25
	ユビキタスグループ情報をインポートする	3-25
	ユビキタスグループ情報をエクスポートする	3-25
	ユビキタスグループ情報の設定ファイルを新規に作成する	3-26
3.11	ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で 作成する	3-27

4 ユビキタスプリント設定をする（管理者用）

4.1	ユビキタスプリント設定について	4-1
4.2	ユビキタスプリントのストレージ機能を設定する	4-2
4.2.1	ストレージ機能を有効にする	4-3
	ストレージ機能を有効にする	4-3
	印字後削除設定をする	4-4
	文書削除時間設定をする	4-5
4.2.2	ストレージ機能を無効にする	4-6
	ストレージ機能を無効にする	4-6
4.3	文書を手動で削除する	4-7
	文書を手動で削除する	4-7



4.4	ユビキタスプリントのクライアント機能を設定する	4-8
4.4.1	クライアント機能を有効にする	4-9
	クライアント機能を有効にする	4-9
	プロトコルを設定する	4-9
	接続タイムアウト時間を設定する	4-10
4.4.2	クライアント機能を無効にする	4-11
	クライアント機能を無効にする	4-11
4.5	ユビキタスグループ設定をする	4-12
4.5.1	ユビキタスグループ設定をする	4-12
	ホスト名で登録する場合	4-14
	IPv4 アドレスで登録する場合	4-15
	IPv6 アドレスで登録する場合	4-15
5	トップメニューにショートカットキーを追加する (管理者用)	
5.1	トップメニューにショートカットキーを追加する	5-1
	ショートカットキーの追加手順	5-1
6	プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort の インストール	
6.1	LK-114_InstallTool の作成 (管理者用)	6-2
6.1.1	LK-114_InstallerCreateTool について	6-2
6.1.2	事前準備	6-2
	Driver Packaging Utility を使用したプリンタードライバー セットアップファイルの作成	6-3
6.1.3	LK-114_InstallTool の作成と配布	6-9
	LK-114_InstallTool の作成手順	6-9
6.2	LK-114_InstallTool からの自動インストール	6-14
6.3	LK-114_InstallTool からの手動インストール	6-15
	LK-114_InstallTool の起動とインストール対象選択画面	6-15
6.3.1	LK-114_ManagerPort のインストール	6-16
	インストール手順	6-16
6.3.2	プリンタードライバーのインストール	6-19
	インストール手順	6-20
6.3.3	LK-114_ManagerPort の設定	6-22



7	プリンタードライバー／LK-114_ManagerPort の アンインストール	
7.1	プリンタードライバーのアンインストール	7-1
	アンインストールの手順	7-1
7.2	LK-114_ManagerPort のアンインストール	7-2
	アンインストールの手順	7-2
8	操作方法	
8.1	ユビキタスプリントでできること	8-1
8.2	プリントジョブをストレージ機へ蓄積する	8-2
	プリントジョブを蓄積する	8-2
	通信確認ができず通信エラーが発生した場合	8-2
	データ送信中に送信エラーが発生した場合	8-3
8.3	クライアント機で印刷する	8-4
	印刷設定の変更について	8-4
	プリントジョブを印刷する	8-5
8.4	プリントジョブを削除する	8-8
	プリントジョブを削除する	8-8
9	トラブルシューティング	
9.1	印刷時のエラーメッセージと対策	9-1
10	付録（管理者用）	
10.1	装置定義ファイルについて	10-1

本製品について

ユビキタスプリントは、複数の本体でグループを構成し、ユーザーのコンピュータから本体にいったん蓄積したプリントジョブを、グループ内の任意の本体から印刷することができる機能です。

ユビキタスプリントの機能を使用するには、本体に i-Option のライセンス登録と、アップグレードキット UK-204 が必要です。

製品名の表記について

本書では、製品名を以下のように表記しています。

製品名称	略称
KONICA MINOLTA LK-114_ManagerPort	LK-114_ManagerPort
KONICA MINOLTA LK-114_InstallerCreateTool	LK-114_InstallerCreateTool
KONICA MINOLTA LK-114_InstallTool	LK-114_InstallTool
KONICA MINOLTA LK-114_SetupTool	LK-114_SetupTool
KONICA MINOLTA LK-114_Editor for SetupTool	LK-114_Editor for SetupTool

登録商標および商標

商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、PageScope、bizhub は、コニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

RSA BSAFE®

RSA および BSAFE® は米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。



ライセンス情報

本製品は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。

画面について

本書に掲載する画面は、Windows 7 の画面を使用しています。



ワンポイント

本体や設定によって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご注意

本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは、固くお断りします。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

Copyright © 2013 KONICA MINOLTA, INC. All rights reserved.

1 概要

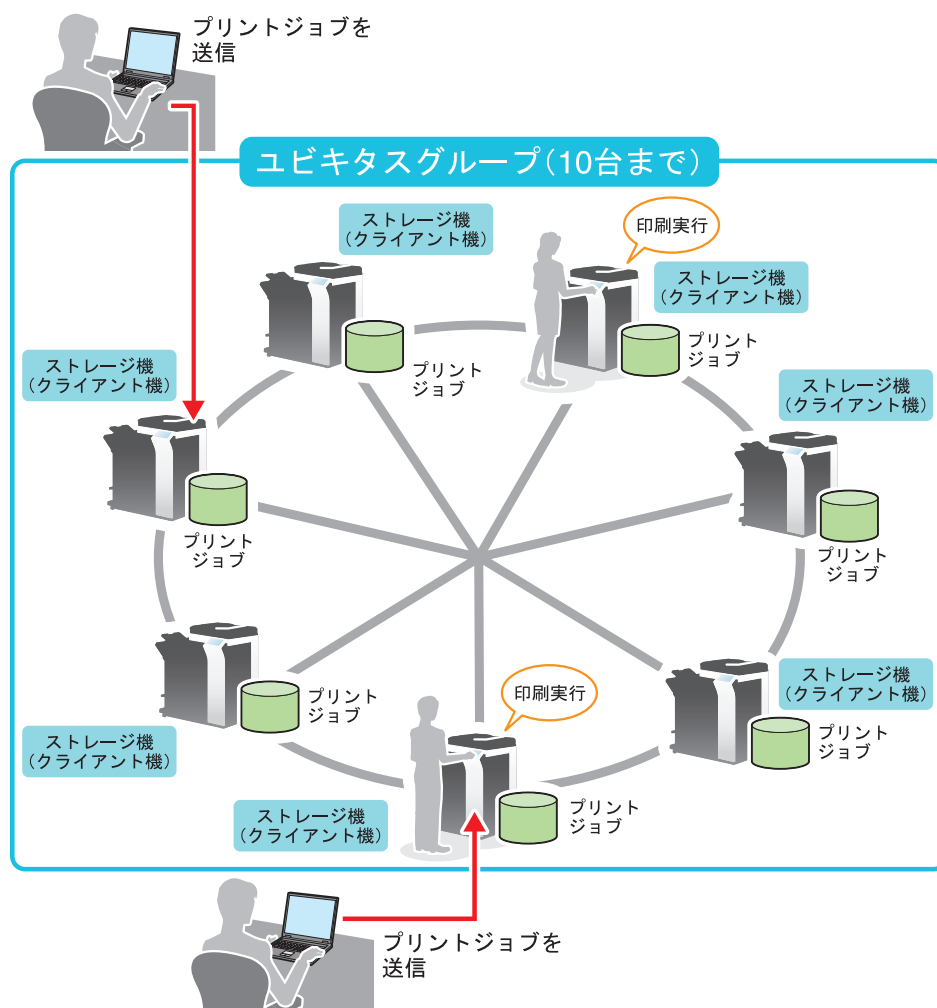
1.1 ユビキタスプリントについて

ユビキタスプリントは、複数の本体でユビキタスグループを構成し、ユーザーのコンピューターから本体にいったん蓄積したプリントジョブを、グループ内の任意の本体から印刷することができる機能です。

ユビキタスプリント機能が提供するソリューションは以下です。

- 放置プリントを低減できるので、印刷コストの削減やセキュリティの強化を実現できる
- プリントサーバーが不要となるので、機器コストおよび管理者の負荷を低減できる
- 印刷したい本体が混んでいた場合、他の本体から印刷できることで、業務効率が向上する

ユビキタスプリントでは、ユビキタスグループを構成しているすべての本体で、プリントジョブを蓄積するためのストレージ機能とプリントジョブを印刷するためのクライアント機能を利用することができます。



本書には、以下の内容を記載しています。

章	内容	対象者		参照ページ
		管理者	ユーザー	
1 概要	ユビキタスプリントの機能、システム環境、制限事項などについて記載しています。	○	○	p. 1-1
2 事前準備（管理者用）	本体の設定について記載しています。	○	—	p. 2-1
3 ユビキタスグループの作成（管理者用）	ユビキタスプリントを利用するユビキタスグループを作成・変更・削除する手順について記載しています。	○	—	p. 3-1
4 ユビキタスプリント設定をする（管理者用）	ストレージ機能、クライアント機能、ユビキタスグループ設定の各設定について記載しています。	○	—	p. 4-1
5 トップメニューにショートカットキーを追加する（管理者用）	トップメニューにショートカットキーを追加する手順について記載しています。	○	—	p. 5-1
6 プリンタードライバーとLK-114_ManagerPortのインストール	プリンタードライバーとLK-114_ManagerPortのインストール手順を記載しています。また、LK-114_InstallToolの作成手順についても記載しています。	○	○	p. 6-1
7 プリンタードライバー／LK-114_ManagerPortのアンインストール	プリンタードライバー、LK-114_ManagerPortのアンインストール手順を記載しています。	○	○	p. 7-1
8 操作方法	ユビキタスプリント機能を利用して印刷する手順を記載しています。	○	○	p. 8-1
9 トラブルシューティング	印刷時のエラーメッセージと原因、対策を記載しています。	○	○	p. 9-1
10 付録（管理者用）	装置定義ファイルの作成について記載しています。	○	—	p. 10-1

1.1.1 準備確認（管理者用）

ユビキタスプリント運用までの準備、設定に以下が必要です。

- プリンタードライバー（PCL および PS のみ）
- LK-114_SetupTool
- LK-114_Editor for SetupTool
- LK-114_InstallerCreateTool

また LK-114_InstallerCreateTool を使用するには、以下の準備が必要です。

- Driver Packaging Utility

ユビキタスプリントの機能を使用するには、以下のことが必要です。ご確認ください。

- 本体への i-Option のライセンス登録
- アップグレードキット UK-204（サービスマンによる取付け）



ひとこと

i-Option のライセンス登録について詳しくは、「i-Option のライセンス登録」（p. 2-4）をごらんください。

1.1.2 運用までの流れ（管理者用）

ユーザーがユビキタスプリントを運用できるようにするためには、以下の準備や設定が必要です。

事前準備

ユビキタスプリントを利用する本体に以下の設定を行います。

- 本体の設定（OpenAPI の設定、認証設定）
- i-Option のライセンス登録

設定は、本体の操作パネルで行います。

詳しくは、「事前準備（管理者用）」（p. 2-1）をごらんください。

ユビキタスグループの作成

ユビキタスグループを構成する本体を指定します。

コンピューターで LK-114_SetupTool を使用して設定します。

詳しくは、「ユビキタスグループの作成（管理者用）」（p. 3-1）をごらんください。

ユビキタスプリントの設定

ストレージ機能およびクライアント機能を有効にする設定、ユビキタスグループとして使用する本体の登録設定を行います。

詳しくは、「ユビキタスプリント設定をする（管理者用）」（p. 4-1）をごらんください。

ショートカットキーの追加

トップメニューにユビキタスプリントのショートカットキーを追加します。

設定は、本体の操作パネルで行います。

詳しくは、「トップメニューにショートカットキーを追加する」（p. 5-1）をごらんください。

プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort のインストール

プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort をインストールします。

インストール順序は以下のとおりです。

1. LK-114_ManagerPort
2. プリンタードライバー

ユーザーのコンピュータに管理者権限がある場合

- LK-114_InstallTool の作成は必要ありません。プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort を、ユーザーのコンピュータに配布し [Setup.exe] からインストールしてください。
LK-114_ManagerPort は、[LK-114_InstallerCreateTool] > [InstForm] フォルダー内に含まれています。

ユーザーのコンピュータに管理者権限がない場合

- 管理者権限がなくてもインストールが実行できる LK-114_InstallTool を作成し、ユーザーに配布します。
LK-114_InstallTool は、LK-114_InstallerCreateTool を使用して作成します。また、プリンタードライバーや LK-114_ManagerPort の設定を自動で行うように設定することもできます。
LK-114_InstallTool の作成について詳しくは、「LK-114_InstallTool の作成（管理者用）」（p. 6-2）をごらんください。

プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort のインストールについて詳しくは、「プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort のインストール」（p. 6-1）をごらんください。

1.2 必要なシステム環境

ユビキタスプリントが動作する条件は以下のとおりです。

プリンタードライバー（PCL ドライバー、PS ドライバー）

プリンタードライバーの動作条件は、使用する本体の仕様に準じます。詳しくは、本体のユーザズガイドをごらんください。

LK-114_ManagerPort

OS	Windows Vista Home Basic（SP2 以降）* Windows Vista Home Premium（SP2 以降）* Windows Vista Ultimate（SP2 以降）* Windows Vista Business（SP2 以降）* Windows Vista Enterprise（SP2 以降）* Windows 7 Home Premium（SP1 以降）* Windows 7 Professional（SP1 以降）* Windows 7 Enterprise（SP1 以降）* Windows 7 Ultimate（SP1 以降）* Windows 8.1* Windows 8.1 Pro* Windows 8.1 Enterprise* Windows 10 Home* Windows 10 Pro* Windows 10 Enterprise* Windows 10 Education* * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	以下ライブラリのうちいずれかがインストールされていること Microsoft .NET Framework 3.5（SP1 以降） Microsoft .NET Framework 4.0 以降
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量：512MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル以上 16bit カラー以上

LK-114_InstallTool

OS	Windows Vista Home Basic (SP2 以降) * Windows Vista Home Premium (SP2 以降) * Windows Vista Ultimate (SP2 以降) * Windows Vista Business (SP2 以降) * Windows Vista Enterprise (SP2 以降) * Windows 7 Home Premium (SP1 以降) * Windows 7 Professional (SP1 以降) * Windows 7 Enterprise (SP1 以降) * Windows 7 Ultimate (SP1 以降) * Windows 8.1 * Windows 8.1 Pro * Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Home * Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	以下ライブラリのうちいずれかがインストールされていること Microsoft .NET Framework 3.5 (SP1 以降) Microsoft .NET Framework 4.0 以降
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量 : 512MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル以上 16bit カラー以上

LK-114_InstallerCreateTool (管理者用)

OS	Windows Vista Home Basic (SP2 以降) * Windows Vista Home Premium (SP2 以降) * Windows Vista Ultimate (SP2 以降) * Windows Vista Business (SP2 以降) * Windows Vista Enterprise (SP2 以降) * Windows 7 Home Premium (SP1 以降) * Windows 7 Professional (SP1 以降) * Windows 7 Enterprise (SP1 以降) * Windows 7 Ultimate (SP1 以降) * Windows 8.1 * Windows 8.1 Pro * Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Home * Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	以下ライブラリのうちいずれかがインストールされていること Microsoft .NET Framework 3.5 (SP1 以降) Microsoft .NET Framework 4.0 以降
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量 : 512MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル以上 16bit カラー以上

LK-114_SetupTool（管理者用）

OS	Windows Vista Home Basic（SP2 以降）* Windows Vista Home Premium（SP2 以降）* Windows Vista Ultimate（SP2 以降）* Windows Vista Business（SP2 以降）* Windows Vista Enterprise（SP2 以降）* Windows 7 Home Premium（SP1 以降）* Windows 7 Professional（SP1 以降）* Windows 7 Enterprise（SP1 以降）* Windows 7 Ultimate（SP1 以降）* Windows 8.1* Windows 8.1 Pro* Windows 8.1 Enterprise* Windows 10 Home* Windows 10 Pro* Windows 10 Enterprise* Windows 10 Education* * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5（SP1 以降）
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量：100MB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上 16bit カラー以上

LK-114_Editor for SetupTool（管理者用）

OS	Windows Vista Home Basic（SP2 以降）* Windows Vista Home Premium（SP2 以降）* Windows Vista Ultimate（SP2 以降）* Windows Vista Business（SP2 以降）* Windows Vista Enterprise（SP2 以降）* Windows 7 Home Premium（SP1 以降）* Windows 7 Professional（SP1 以降）* Windows 7 Enterprise（SP1 以降）* Windows 7 Ultimate（SP1 以降）* Windows 8.1* Windows 8.1 Pro* Windows 8.1 Enterprise* Windows 10 Home* Windows 10 Pro* Windows 10 Enterprise* Windows 10 Education* * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5（SP1 以降）
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量：100MB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上 16bit カラー以上

Driver Packaging Utility (管理者用)

OS	Windows Vista Home Basic (SP2 以降) * Windows Vista Home Premium (SP2 以降) * Windows Vista Ultimate (SP2 以降) * Windows Vista Business (SP2 以降) * Windows Vista Enterprise (SP2 以降) * Windows Server 2008 Standard * Windows Server 2008 Enterprise * Windows 7 Home Basic (SP1 以降) * Windows 7 Home Premium (SP1 以降) * Windows 7 Professional (SP1 以降) * Windows 7 Enterprise (SP1 以降) * Windows 7 Ultimate (SP1 以降) * Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows 8.1 * Windows 8.1 Pro * Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Home * Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1.3 制限事項

ユビキタスプリントを使用するには、以下の制限があります。

- ユビキタスプリントを利用するには、アップグレードキット UK-204 が必要です。
- ユビキタスグループを構成できる本体は 10 台までです。
- WAN 越えてユビキタスグループを構成することはできません。
- ストレージ機からクライアント機へのプリントジョブ送信時、暗号化は行われません。
- 使用できるドライバーは PCL ドライバーおよび PS ドライバーのみ(どちらも Windows) です。PCL ドライバーを使用する場合、[印刷設定] 画面の [画像品質] タブにある [解像度] で [1200dpi(PC ラスタライズ)] を選択したジョブはスプールされずに削除されます。1200dpi で印刷する場合は、[1200dpi(装置ラスタライズ)] を選択するか、PS ドライバーを使用してください。PS ドライバーを使用してプリントジョブを送信した場合、クライアント機での印刷時に印刷設定の変更はできません。
- 使用できる認証パターンは以下のとおりです。また、ユビキタスグループを構成する本体すべてを同じ認証パターンに設定しておく必要があります。
 - 本体装置認証
 - 外部サーバー認証
 - 本体装置認証+外部サーバー認証 (認証先: 本体装置)
 - 本体装置認証+外部サーバー認証 (認証先: 外部サーバー)
 - 拡張サーバー認証
 - 本体装置認証+拡張サーバー認証 (認証先: 本体装置)
 - 本体装置認証+拡張サーバー認証 (認証先: 拡張サーバー)
 - 拡張サーバー認証+外部サーバー認証 (認証先: 外部サーバー)
- 認証形態は、カードまたは生体認証、操作パネルからの認証が対象となります。
- ユーザー数制限は、本体に依存します。
- ストレージ機 1 台にプリントジョブを蓄積できる容量は、1 ユーザー 100 文書、全体では 5GB、10,000 文書までです。
- ユビキタスプリントは、セキュリティー強化モード、ベンダーモード、統合管理装置モードとの併用はできません。
- Windows に Guest アカウントでログオンしている場合、Guest アカウントのままでは、LK-114_ManagerPort を利用できません。



...

ひとこと

異なる機種を混在させてユビキタスグループを構成する場合は、「異なる機種でユビキタスグループを構成する場合」(p. 2-3) をご覧ください。

2 事前準備（管理者用）

2.1 本体の設定

ユビキタスプリントを利用するためには、以下の本体の設定を行います。
ユビキタスプリントを利用するすべての本体で設定が必要です。

2.1.1 OpenAPI の機能を有効にする

本体の「設定メニュー」－「管理者設定」－「システム連携」－
「OpenAPI 設定」－「アクセス設定」で OpenAPI の機能が可能となっ
ていることを確認してください。



ご注意

ユビキタスプリント設定（p. 4-1）の完了後、「OpenAPI 設定」で
SSL の有効 / 無効設定を変更した場合は、LK-114_SetupTool で再設
定してください（p. 3-2）。



ひとこと

本体の操作パネルのメニュー構成は、機種やバージョンにより異なりま
す。手順について詳しくは、それぞれの本体のユーザーズガイドをごら
んください。

2.1.2 認証設定

本体の「設定メニュー」－「管理者設定」のユーザー認証の認証方式を以
下のいずれかに設定します。ユビキタスグループを構成する本体すべてを
同じ認証パターンに設定してください。

- 本体装置認証
- 外部サーバー認証
- 本体装置認証＋外部サーバー認証（認証先：本体装置）
- 本体装置認証＋外部サーバー認証（認証先：外部サーバー）
- 拡張サーバー認証
- 本体装置認証＋拡張サーバー認証（認証先：本体装置）
- 本体装置認証＋拡張サーバー認証（認証先：拡張サーバー）
- 拡張サーバー認証＋外部サーバー認証（認証先：外部サーバー）



...

ご注意

カードを利用して外部サーバー認証を行う場合は、本体の〔設定メニュー〕－〔管理者設定〕－〔ユーザー認証 / 部門管理〕でプリント簡易認証設定を有効にしてください。



...

ひとこと

本体の操作パネルのメニュー構成は、機種やバージョンにより異なります。手順について詳しくは、それぞれの本体のユーザーズガイドをご覧ください。

2.2 異なる機種でユビキタスグループを構成する場合

異なる機種でユビキタスグループを構成する場合は、以下の手順でプリント簡易認証の設定を有効にしてください。

本体の操作パネル、または PageScope Data Administrator から設定できます。

2.2.1 プリント簡易認証を設定する

プリント簡易認証の設定を有効にする手順を説明します。

本体の操作パネルから設定する場合

- 1 [設定メニュー] – [管理者設定] – [ユーザー認証 / 部門管理] – [プリント簡易認証] – [認証設定] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [許可] をタップし、[OK] をタップします。

PageScope Data Administrator から設定する場合

- 1 [装置一覧] の装置をダブルクリックします。
- 2 [認証設定] – [プリント簡易認証設定] をクリックします。
- 3 [プリント簡易認証を有効にする] をチェックします。

2.3 i-Option のライセンス登録

本体にユビキタスプリントの機能を追加するには、i-Option のライセンスを登録し、機能を有効にします。

i-Option のライセンス登録、機能有効化の手順について詳しくは、本体のユーザーズガイドをごらんください。

3 ユビキタスグループの作成（管理者用）

ユビキタスプリントを利用するユビキタスグループを作成します。

1 つのユビキタスグループで 10 台までの本体を指定できます。また、複数のユビキタスグループを作成できます。

ユビキタスグループの本体は、プリントジョブを蓄積するためのストレージ機能、ログインして印刷するクライアント機能の両方の機能を利用することができます。



...

ご注意

WAN 越えてユビキタスグループを構成することはできません。



...

ご注意

LK-114_SetupTool では、IPv6 でのご利用はできません。IPv6 でユビキタスプリントをご利用になる場合は、本体の操作パネルで設定してください。詳しくは、「ユビキタスプリント設定をする（管理者用）」（p. 4-1）をごらんください。



...

ひとつと

異なる機種を混在させてユビキタスグループを構成する場合は、「異なる機種でユビキタスグループを構成する場合」（p. 2-3）をごらんください。



...

ひとつと

ネットワーク上に本体が接続されていないローカル環境で、ユビキタスグループを作成することができます。詳しくは、「ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する」（p. 3-27）をごらんください。

3.1 LK-114_SetupTool について

LK-114_SetupTool は、ユビキタスプリントを利用するユビキタスグループを作成・管理するツールです。

LK-114_SetupTool を利用すると、容易にユビキタスグループを構成する本体を指定したり、指定を解除することができます。

また、本体側で設定したユビキタスプリント設定と相違がある場合は、設定内容を同期することもできます。

あらかじめ LK-114_SetupTool を準備し、任意のフォルダーにコピーしてください。

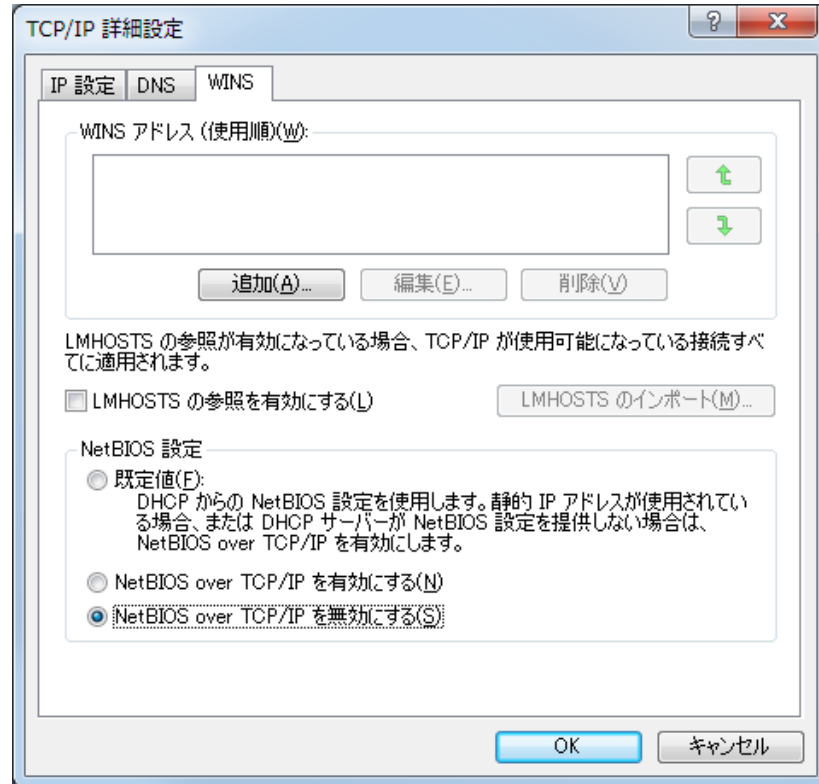
NetBIOS の設定について

LK-114_SetupTool をご利用になる前に、事前に NetBIOS 設定を以下のように設定してください。

Windows 7 の場合で説明します。

- 1 [スタート] – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [ローカルエリア接続] を選択します。
ローカルエリア接続の状態画面が表示されます。
- 2 [プロパティ] をクリックします。
ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。
- 3 接続の項目リストから [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択して、[プロパティ] をクリックします。
インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4) のプロパティ画面が表示されます。
- 4 [詳細設定] をクリックします。

- 5 TCP/IP 詳細画面の [WINS] タブで NetBIOS の設定を行い、[OK] をクリックします。
 - [LMHOSTS の参照を有効にする] のチェックボックスのチェックを外します。
 - [NetBIOS 設定] で [NetBIOS over TCP/IP を無効にする] を選択します。



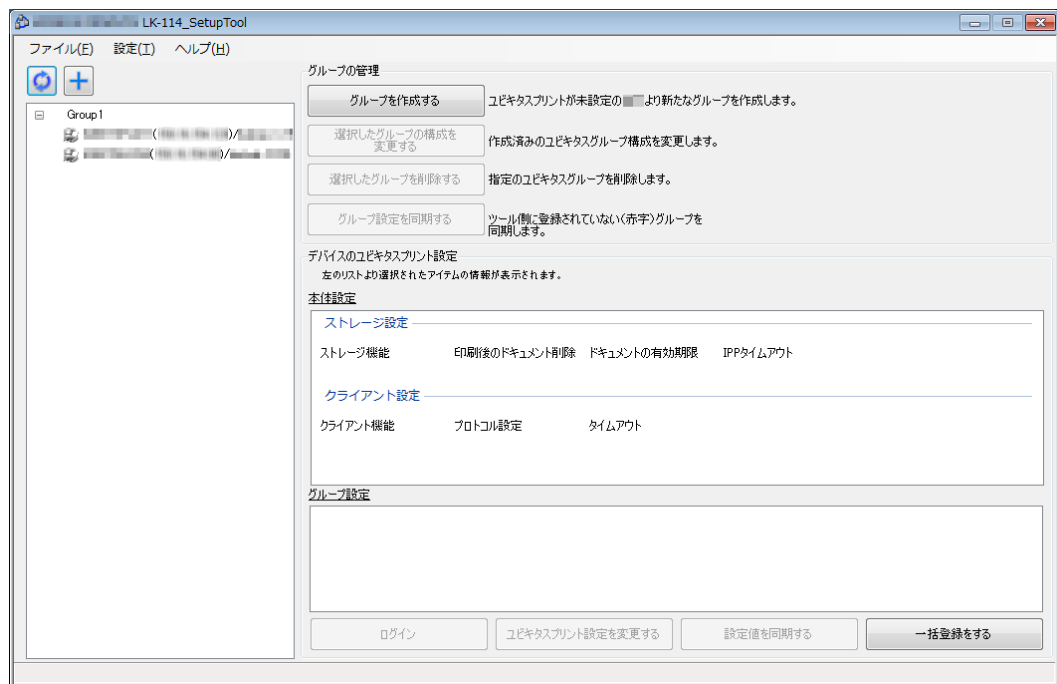
- 6 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を選択します。
- 7 以下のコマンドを実行します。「ipconfig /flushdns」
 - 「ipconfig」と「/flushdns」の間にスペースを入れます。
 以下のメッセージが表示されます。






3.1.1 LK-114_SetupTool の起動と画面

管理者権限で Windows にログオンし、[LK-114_SetupTool.exe] をダブルクリックすると、LK-114_SetupTool が起動します。

起動時に接続されている本体が自動的に検索され、画面左側にある本体リストのエリアに表示されます。



項目	内容
	本体リストの内容を更新します。
	本体を手動で追加します。詳しくは、「本体を検索する」(p. 3-6) をご覧ください。
本体リスト	ユビキタスプリント対応の本体が表示されます。
[グループを作成する]	新しいユビキタスグループを作成します。
[選択したグループの構成を変更する]	作成済みのユビキタスグループ構成を変更します。
[選択したグループを削除する]	選択したユビキタスグループを削除します。
[グループ設定を同期する]	LK-114_SetupTool 側に登録されていないユビキタスグループを同期します。
本体設定	本体リストから選択した本体のユビキタスプリント設定（ストレージ機能設定、クライアント機能設定）の内容が表示されます。
グループ設定	本体リストから選択した本体のユビキタスプリント設定（ユビキタスグループ設定）の内容が表示されます。

項目	内容
〔ログイン〕	 が付いた本体を選択した場合に使用できます。LK-114_SetupTool 側の管理者パスワード設定と一致しない本体や、認証によるユビキタスプリント設定の自動取得を行っていない本体を個別に認証し、ユビキタスプリント設定を取得します。
〔ユビキタスプリント設定を変更する〕	本体ごとのユビキタスプリント設定を変更します。
〔設定値を同期する〕	LK-114_SetupTool で設定したユビキタスプリント設定と本体側の設定値が一致しない場合に、設定値を同期することができます。
〔一括登録をする〕	ユビキタスグループ設定ファイルからインポートしたすべての本体を一括で登録します。 ユビキタスグループ設定ファイルの作成について詳しくは、「ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する」(p. 3-27) をごらんください。







ひとこと

DNS サーバーの環境によっては、更新処理がうまく動作しない場合があります。処理動作がタイムアウトした可能性があります。LK-114_SetupTool の管理者設定でタイムアウトの設定値を変更してください。LK-114_SetupTool で設定を変更する手順について詳しくは、「管理者設定をする」(p. 3-6) をごらんください。

本体で接続タイムアウト設定の設定値を変更することもできます。詳しくは、「接続タイムアウト時間を設定する」(p. 4-10) をごらんください。

アイコンの種類


本体リストに表示されるアイコンの意味は以下のとおりです。

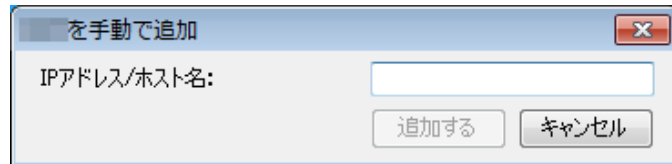
項目	内容
	プリントストレージ機能が有効になっている本体を表します。
	クライアント機能が有効になっている本体を表します。
	プリントストレージ機能およびクライアント機能の両方が有効になっている本体を表します。
アイコン表示なし	ストレージ機能、クライアント機能の両方が無効になっている本体を表します。
	管理者パスワードの不一致などで、現在のユビキタスプリント設定が閲覧できない本体を表します。

3.1.2 本体を検索する

本体を手動で追加し、リストに表示します。

本体を検索する

- 1  をクリックします。
- 2 IP アドレスまたはホスト名を入力し、[追加する] をクリックします。

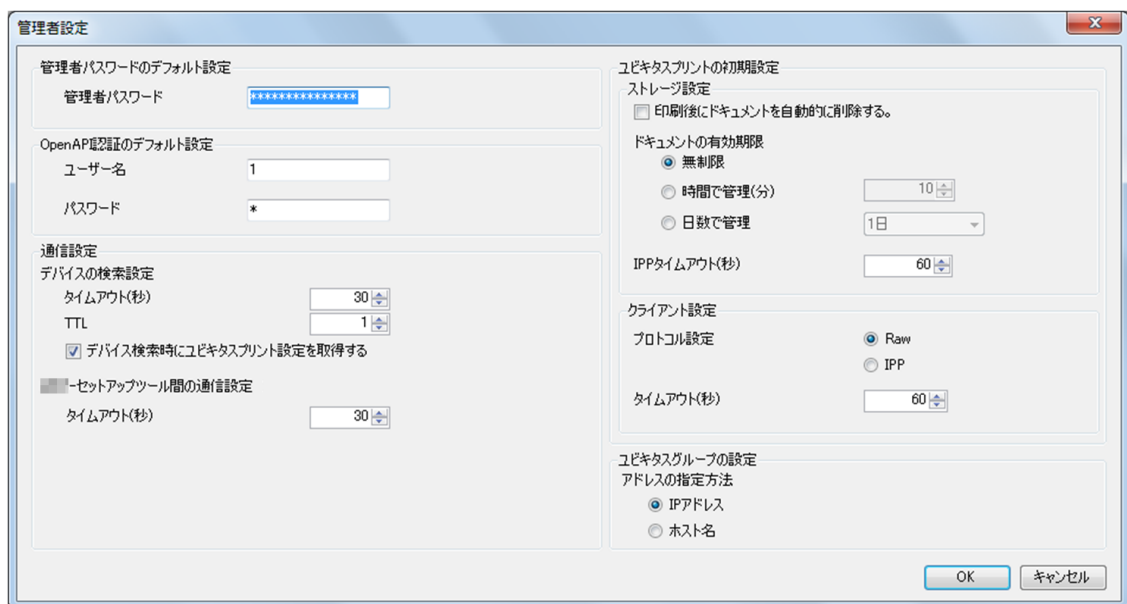


本体がリストに追加されます。


3.1.3 管理者設定をする

管理者設定をします。

管理者設定で設定できる項目は以下のとおりです。



項目	内容
管理者パスワードのデフォルト設定	管理者パスワードの初期値を設定します。 管理者パスワード入力が必要な画面に、ここで設定した設定値が初期値として表示されます。

項目	内容
OpenAPI 認証のデフォルト設定	<p>OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードの初期値を設定します。OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードの入力が必要な画面に、ここで設定した設定値が初期値として表示されます。</p> <p> ...</p> <p>ひとつこと OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、ユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。</p>
通信設定	<p>本体の検索時や本体と LK-114_SetupTool との通信時のタイムアウト（秒）など、通信に関する設定を行います。</p>
ユビキタスプリントの初期設定	<p>新規にユビキタスプリント設定を行う本体に送信する初期値を設定します。</p>
ユビキタスグループの設定	<p>ユビキタスグループを構成している本体のアドレス指定方法の初期値を設定します。</p>

管理者設定の手順

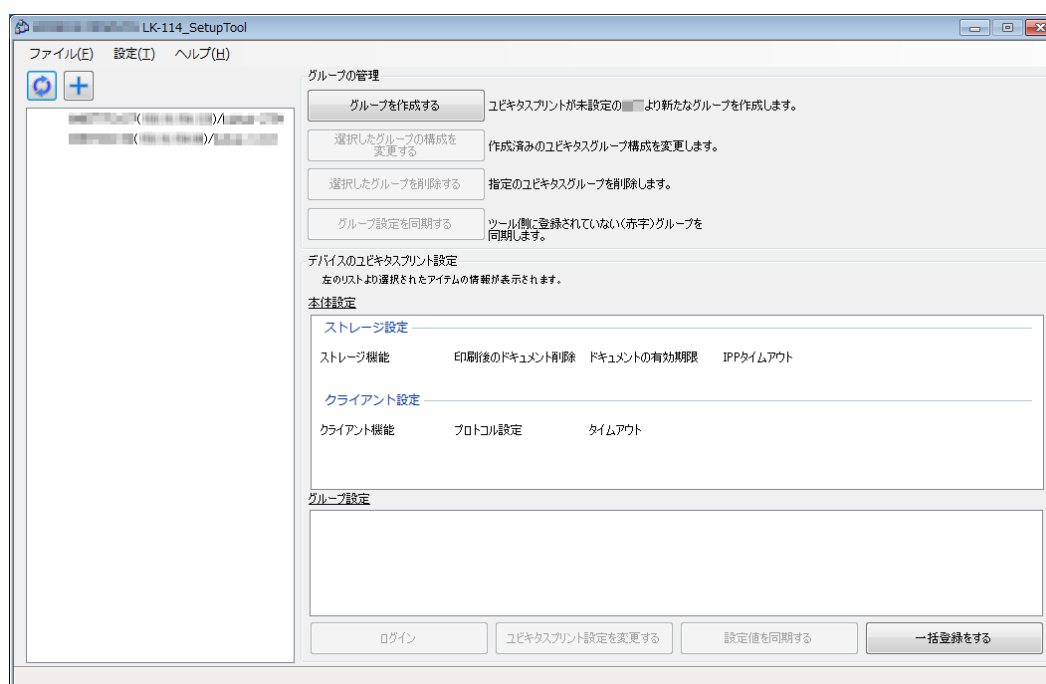
- 1 メニューバーの「設定」－「管理者設定」を選択します。
管理者設定画面が表示されます。
- 2 各項目を設定し、「OK」をクリックします。

3.2 ユビキタスグループを作成する

ユビキタスプリントに設定されていない本体で、新しいユビキタスグループを作成します。

ユビキタスグループ作成の手順

- 1 「グループを作成する」をクリックします。



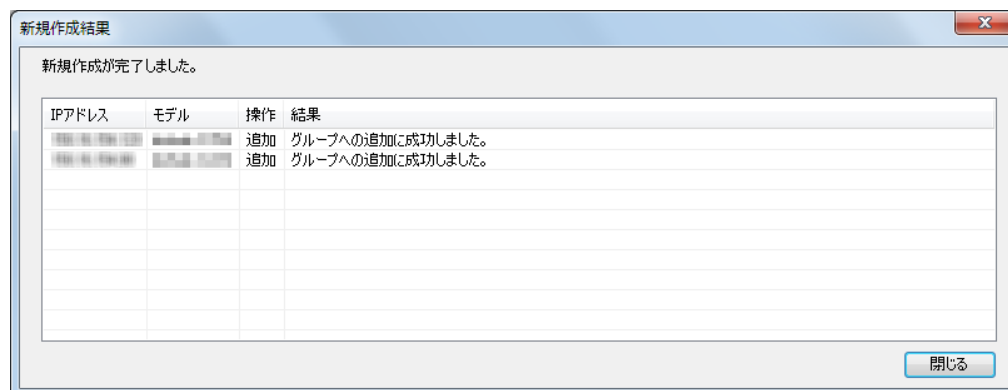
- 2 ユビキタスグループの「グループ名」を入力し、ユビキタスグループに設定する本体のチェックボックスをチェックします。
 - 10 台まで選択できます。「選択されている台数」に、選択されている台数が表示されます。

- 3 「OK」をクリックします。
- 4 本体の管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
 - OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、OpenAPI のユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。

IPアドレス	モデル	操作	管理者パスワード	OpenAPIユーザー名	OpenAPIパスワード
192.168.1.101	Model A	追加	*****	1	*
192.168.1.102	Model A	追加	*****	1	*

ユビキタスグループが作成されます。完了すると新規作成結果画面が表示されます。

5 「閉じる」をクリックします。



...

ひとつこと

管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名とパスワードは、あらかじめ初期値を設定しておくことができます。詳しくは、「管理者設定をする」(p. 3-6) をごらんください。



...

ひとつこと

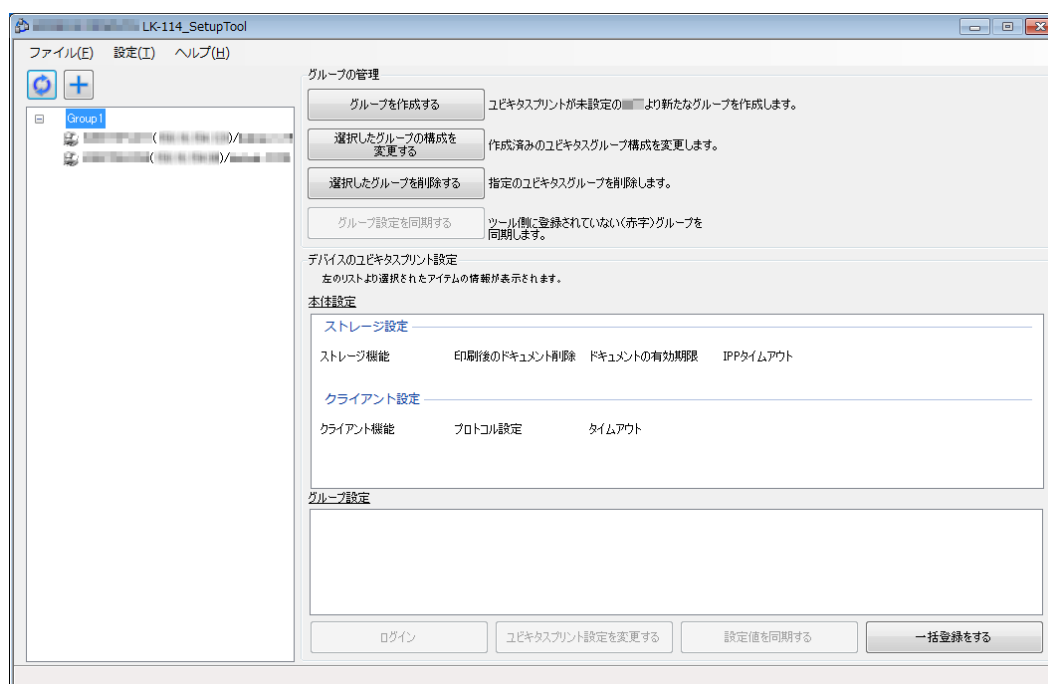
LK-114_Editor for SetupTool を使用すると、本体がネットワーク上に存在しないローカル環境でも、ユビキタスグループの設定を行えます。詳しくは、「ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する」(p. 3-27) をごらんください。

3.3 ユビキタスグループの構成を変更する

作成済みのユビキタスグループ構成を変更します。

ユビキタスグループ構成変更の手順

- 1 本体リストからユビキタスグループ名を選択し、「選択したグループの構成を変更する」をクリックします。
 - ユビキタスグループ名を選択すると、「選択したグループの構成を変更する」のボタンが有効になります。



- 2 ユビキタスグループ情報を変更します。
 - ユビキタスグループ名を変更する場合は、「グループ名」を変更します。
 - ユビキタスグループから本体を削除する場合は、削除する本体のチェックボックスのチェックを外します。

- ユビキタスグループに本体を追加する場合は、追加する本体のチェックボックスをチェックします。

グループの変更を実行します

グループ情報を設定します。

グループ名: Group 1

グループ化するデバイスの選択

選択されている台数(Max10): 2

アドレス	モデル
<input checked="" type="checkbox"/> 192.168.1.101	Model A
<input checked="" type="checkbox"/> 192.168.1.102	Model A
<input type="checkbox"/> 192.168.1.103	Model B
<input type="checkbox"/> 192.168.1.104	Model B

OK キャンセル

- 3 [OK] をクリックします。
- 4 本体の管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
 - OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、OpenAPI のユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。

グループの変更を実行します。

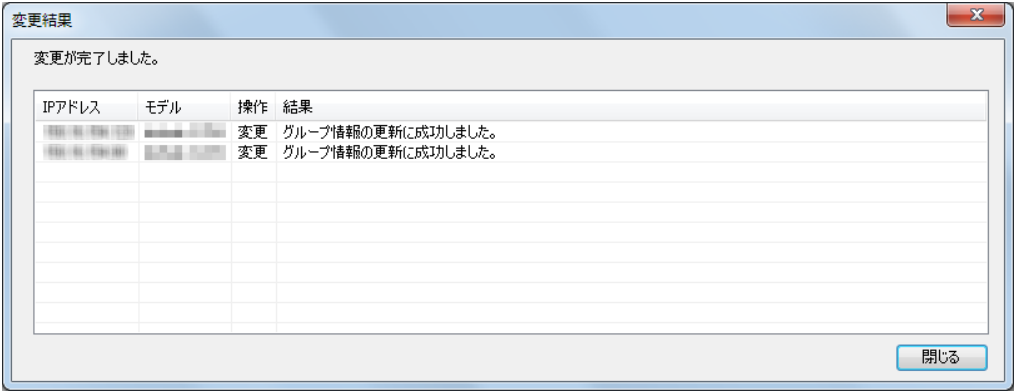
以下の のグループ情報を変更します。:

IPアドレス	モデル	操作	管理者パスワード	OpenAPIユーザー名	OpenAPIパスワード
192.168.1.101	Model A	変更	*****	1	*
192.168.1.102	Model A	変更	*****	1	*

OK キャンセル

ユビキタスグループ構成が変更されます。完了すると変更結果画面が表示されます。

5 「閉じる」をクリックします。

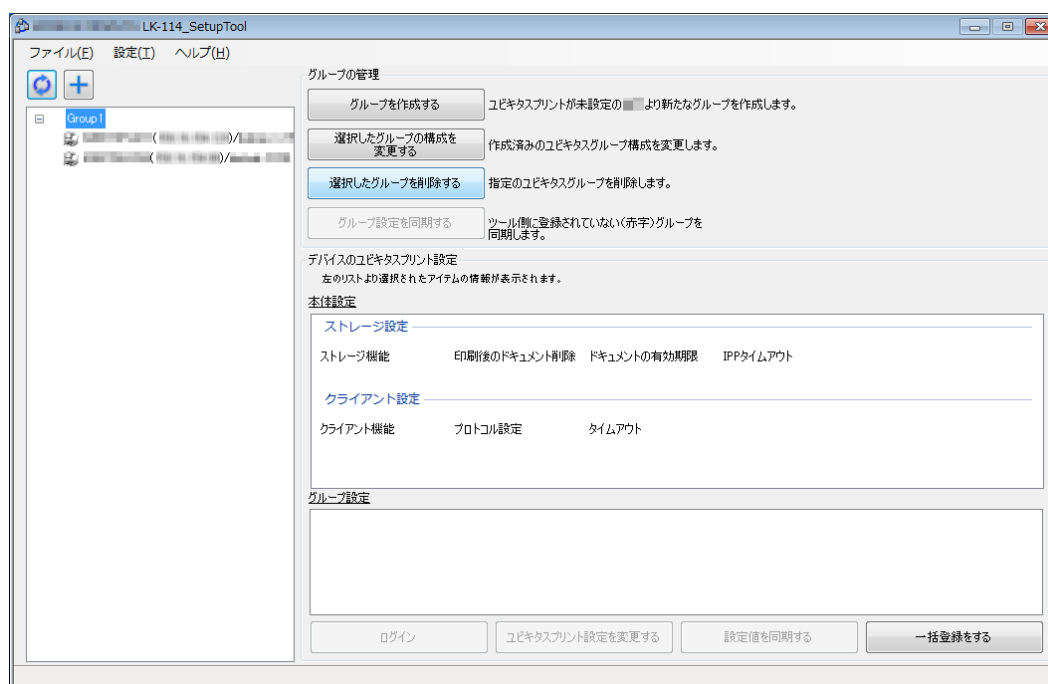


3.4 ユビキタスグループを削除する

ユビキタスグループを削除します。

ユビキタスグループ削除の手順

- 1 本体リストから削除するユビキタスグループ名を選択し、[選択したグループを削除する] をクリックします。
 - ユビキタスグループ名を選択すると、[選択したグループを削除する] のボタンが有効になります。

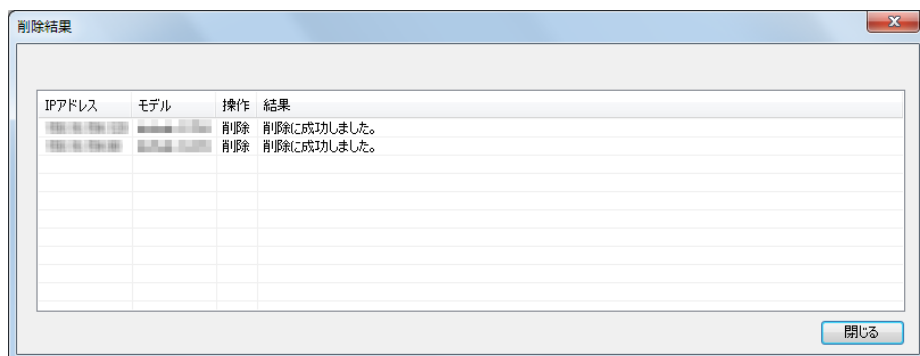


- 2 本体の管理者パスワード、および OpenAPI のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
 - OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、OpenAPI のユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。



ユビキタスグループが削除されます。完了すると削除結果画面が表示されます。

- 3 [閉じる] をクリックします。



ひとこと

LK-114_SetupTool が保持しているグループ情報が削除されます。



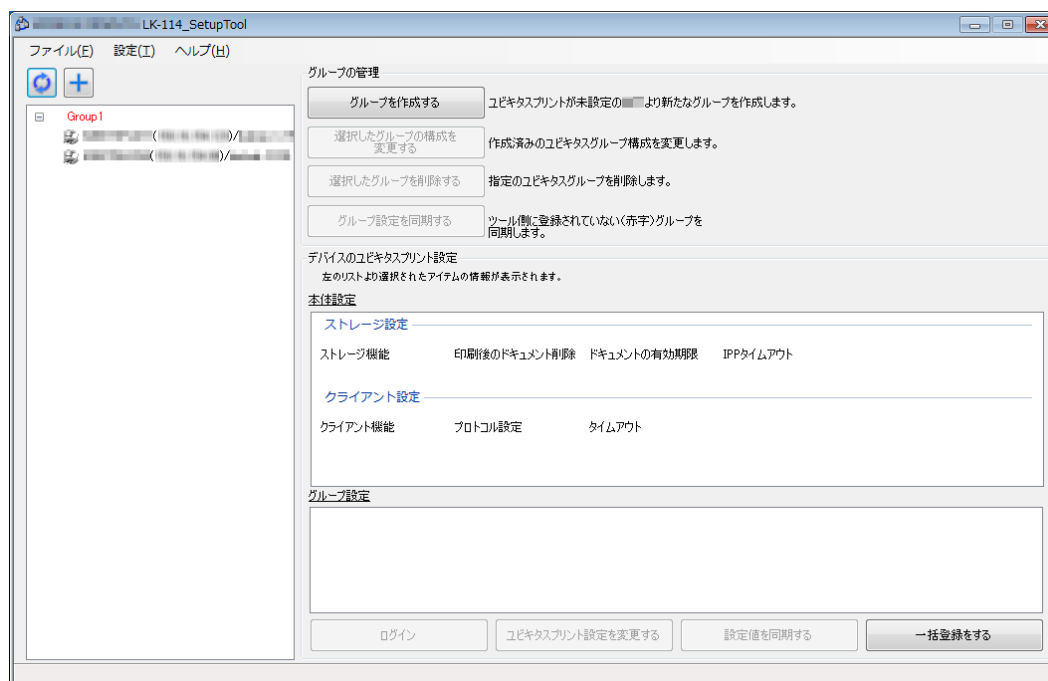
ひとこと

ユビキタスグループを構成していたすべての本体が削除されなかった場合でも、グループ情報は LK-114_SetupTool 上から削除され、本体リストからも削除されます。

3.5 ユビキタスグループ設定を同期する

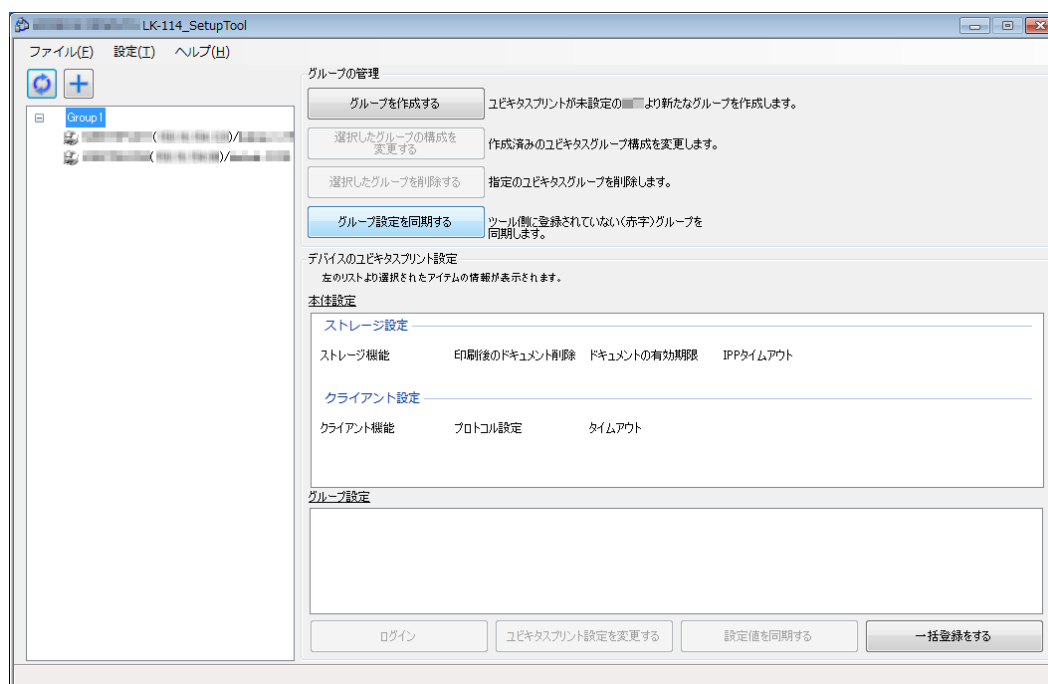
LK-114_SetupTool 側に登録されていないユビキタスグループを同期します。

LK-114_SetupTool の再起動や設定のインポートなどを行った場合に、LK-114_SetupTool 側に登録されていないユビキタスグループがあると、そのユビキタスグループ名が赤字で表示されます。



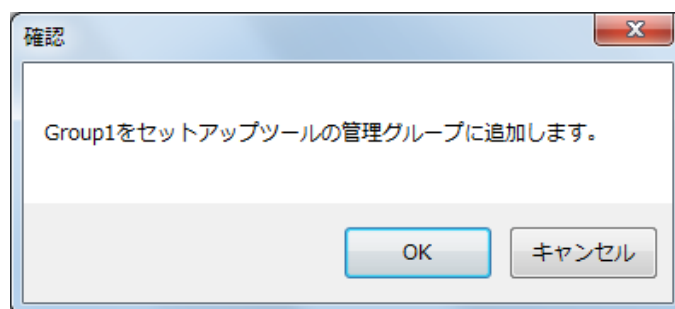
ユビキタスグループ設定の同期手順

- 1 ユビキタスグループ設定を同期するユビキタスグループを選択し、
「グループ設定を同期する」をクリックします。
 - 本体リストで、赤字になっているユビキタスグループを選択すると、「グループ設定を同期する」のボタンが有効になります。



確認画面が表示されます。

- 2 「OK」をクリックします。



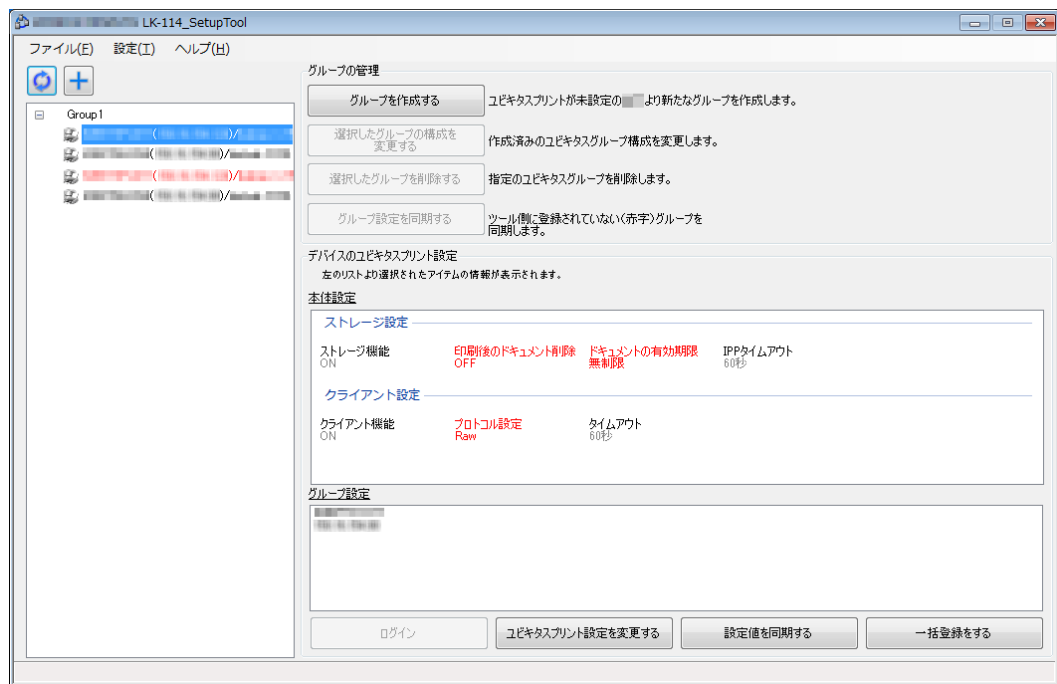
ユビキタスグループ設定が同期され、赤字で表示されていたユビキタスグループ名が黒字になります。

3.6 ユビキタスプリント設定の設定値を同期する

LK-114_SetupTool 側と本体側のユビキタスプリント設定の設定値を同期します。

LK-114_SetupTool の再起動や設定のインポートなどを行ったときに、LK-114_SetupTool と違うユビキタスプリント設定の本体が見つかった場合、その本体は赤字で表示されます。

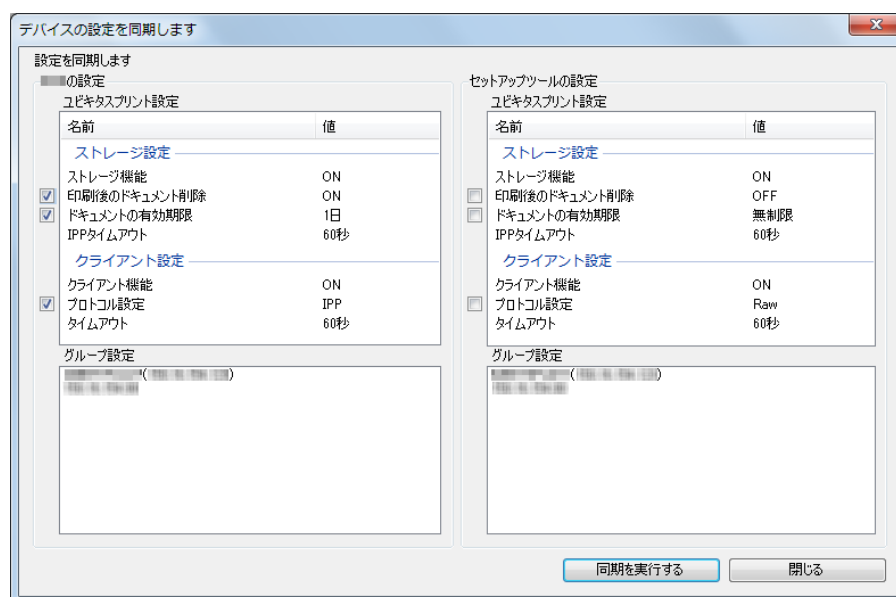
赤字の本体を選択すると、画面右側の［本体設定］および［グループ設定］に設定内容が表示されます。



項目		文字色	
本体リストに表示されている本体		赤	LK-114_SetupTool 側の設定と本体側の設定に違いがある本体を表します。
本体設定	ストレージ設定	赤	LK-114_SetupTool 側の設定と本体側の設定のうち、違いがある項目を表します。
	クライアント設定	赤	LK-114_SetupTool 側の設定と本体側の設定のうち、違いがある項目を表します。
グループ設定		赤	LK-114_SetupTool 側でユビキタスグループ設定されているが、本体側では設定されていないことを表します。
		グレー	本体側でユビキタスグループ設定されているが、LK-114_SetupTool 側では設定されていないことを表します。

ユビキタスプリント設定の同期手順

- 1 設定値を同期する本体を選択し、[設定値を同期する] をクリックします。
 - 本体リストで、赤字になっている本体を選択すると、[設定値を同期する] のボタンが有効になります。
- 2 [bizhub の設定] と [セットアップツールの設定] の内容を確認し、反映する設定値のチェックボックスをチェックします。
 - LK-114_SetupTool 側と本体側とで設定値が異なる項目にチェックボックスが表示されます。



- 3 [同期を実行する] をクリックします。

- 4 [管理者情報] の [パスワード]、[OpenAPI 認証情報] の [ユーザー ID] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。
- OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、OpenAPI のユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。

認証情報を入力して下さい

設定の同期を実行します。認証情報を入力して下さい。

認証情報

管理者情報

パスワード *****

OpenAPI 認証情報

ユーザーID 1

パスワード *

OK キャンセル


設定値の同期が開始されます。完了すると、完了画面が表示されます。

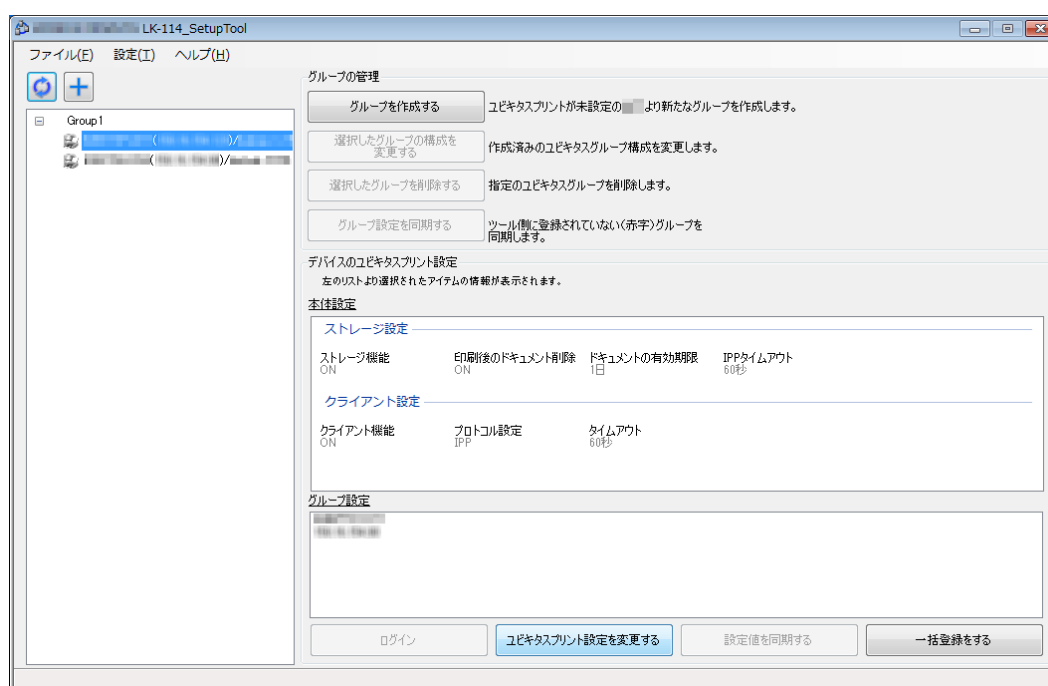
- 5 [OK] をクリックします。

3.7 ユビキタスプリントの設定を変更する

ユビキタスプリントの設定を変更します。

ユビキタスプリント設定の変更手順

- 1 ユビキタスプリント設定を変更する本体を選択し、[ユビキタスプリント設定を変更する] をクリックします。
 - 本体を選択すると、[ユビキタスプリント設定を変更する] のボタンが有効になります。
 -  が付いている本体を選択した場合は、認証情報を入力する画面が表示されますので、認証情報を入力してください。



2 ユビキタスプリントの設定を変更します。

- 本体側から取得したユビキタスプリント設定が表示されています。必要に応じて設定を変更します。

ユビキタスプリントの設定を変更します

デバイスの情報
IPアドレス: [masked]
モデル: [masked]

ストレージ設定
☒ ストレージ機能を有効にする
☒ 印刷後にドキュメントを自動的に削除する。
ドキュメントの有効期限
☒ 無制限
☐ 時間で管理(分) [5]
☐ 日数で管理 [1日]
IPPタイムアウト(秒) [60]

クライアント設定
☒ クライアント機能を有効にする
プロトコル設定
☐ Raw
☒ IPP
タイムアウト(秒) [60]

ログイン設定
*設定の変更にはログイン情報の入力が必要です。

管理者設定
管理者パスワード [*****]
OpenAPI認証
ユーザー名 [1]
パスワード [*]

OK キャンセル

3 [ログイン設定] でログイン情報を入力し、[OK] をクリックします。 ユビキタスプリント設定が変更されます。設定変更完了画面が表示されます。

4 [OK] をクリックします。

3.8 本体の設定を一括で更新する

ユビキタスグループ設定ファイルをインポートして、複数の本体の設定を一括で更新します。

- 1 LK-114_Editor for SetupTool を使用して、ユビキタスグループ設定ファイルを作成します。
 - 詳しくは、「ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する」（p. 3-27）をごらんください。
- 2 「一括登録をする」をクリックします。
ユビキタスグループ設定ファイルに登録されている本体の情報が表示されます。
- 3 内容を確認し、「OK」をクリックします。



一括登録が行われます。「変更結果」画面が表示されます。

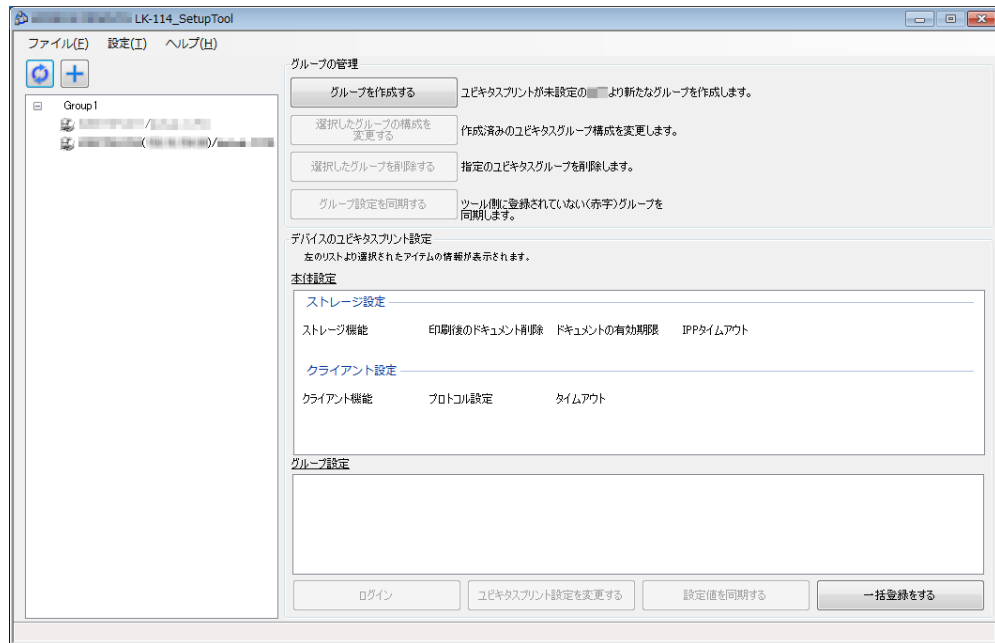
- 4 「閉じる」をクリックします。
LK-114_SetupTool の画面に一括更新した本体が表示されます。

3.9 電源 OFF の本体を管理する

電源 OFF の本体の管理を行います。

電源が OFF になっている本体は、グレーで表示されます。

また、OFF になっている本体は、ユビキタスプリントの設定や同期ができません。




ユビキタスグループから本体を削除する

電源 OFF の本体をユビキタスグループから削除します。

- 1 グレー表示されている本体のユビキタスグループを選択し、[選択したグループの構成を変更する] をクリックします。
- 2 ユビキタスグループから電源 OFF の本体を削除します。
 - 操作手順について詳しくは、「ユビキタスグループの構成を変更する」(p. 3-11) をご覧ください。

ユビキタスグループに本体を復帰させる

- 1 ユビキタスグループから削除した本体の電源を ON にします。
- 2  をクリックします。
削除されていた本体が検出され、どのユビキタスグループにも属していない本体として本体リストに表示されます。

また、OFF になっている本体は、ユビキタスプリントの設定や同期ができません。

3.10 ユビキタスグループ情報を管理する

ネットワークの環境ごとに設定ファイルを作成することで、複数のユビキタスグループ情報を管理できます。設定ファイルのファイル形式は、XMLです。

ユビキタスグループ情報をインポートする

- 1 ツールバーの［ファイル］－［設定をインポート］を選択します。
- 2 インポート画面でインポートするファイル（xml）を選択し、［開く］をクリックします。

設定ファイルの情報が読み込まれ、画面に表示されます。



...

ひとつこと

インポートを実行する前に現在利用しているファイルで保存していない変更箇所がある場合や、ユビキタスグループ作成をしたがファイルをエクスポートしていない場合、インポート画面を開く前に保存確認のメッセージ画面が表示されます。

ユビキタスグループ情報をエクスポートする

- 1 ツールバーの［ファイル］－［設定をエクスポート］を選択します。
- 2 エクスポート画面で保存するフォルダを指定してからファイル名を入力し、［保存］をクリックします。

現在の設定内容で設定ファイルが保存されます。



...

ひとつこと

設定ファイルを作成せずに LK-114_SetupTool でユビキタスグループを作成した場合、保存確認のメッセージが表示されます。［OK］をクリックすると、エクスポートの画面が表示されます。

ユビキタスグループ情報の設定ファイルを新規に作成する

- 1 ツールバーの［ファイル］－［新規作成］を選択します。
- 2 ユビキタスグループ管理ファイルの新規作成画面で保存するフォルダを指定してからファイル名を入力し、［保存］をクリックします。



ひとこと

設定ファイル作成後は、ネットワーク上から設定済みのユビキタスグループ設定を検索時に自動的に検出し、初期ユビキタスグループ設定として作成した管理ファイルに保存します。

3.11 ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する

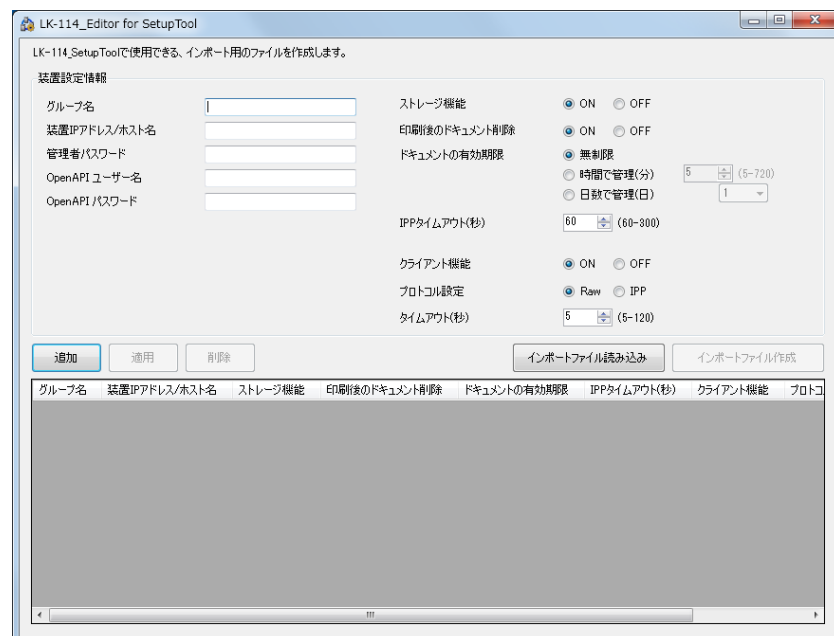
ネットワーク上に本体が存在しないローカル環境で、ユビキタスグループを作成できます。

LK-114_Editor for SetupTool を使用して、ユビキタスグループを構成する本体の IP アドレスなどの情報を設定し、ユビキタスグループの設定ファイルを作成します。

LK-114_SetupTool で設定ファイルを読み込むと、ユビキタスグループを登録できます。

- ✓ あらかじめ、ユビキタスグループに追加する本体の、IP アドレスまたはホスト名、管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名、OpenAPI パスワードを確認してください。

- 1 LK-114_SetupTool を使用して、ユビキタスグループ設定ファイルをエクスポートします。
 - 詳しくは、「ユビキタスグループ情報をエクスポートする」(p. 3-25) をご覧ください。
- 2 [LK114EditorForSetupTool.exe] をダブルクリックし、LK-114_Editor for SetupTool が起動します。
- 3 [インポートファイル読み込み] をクリックします。



- 4 ユビキタスグループ設定ファイルを選択し、[開く] をクリックします。
ユビキタスグループ設定ファイルの情報が読み込まれます。

- 5 [装置設定情報] に、グループに追加したい本体の情報を入力します。
 - [グループ名]：本体を追加するユビキタスグループ名を入力します。
 - [装置 IP アドレス / ホスト名]：本体の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
 - [管理者パスワード]、[OpenAPI ユーザー名]、[OpenAPI パスワード]：本体の管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名、OpenAPI パスワードを入力します。
- 6 本体をストレージ機として使用する場合は、[ストレージ機能] で [ON] を選択します。
 - [印刷後のドキュメント削除]：ストレージ機に蓄積されたプリントジョブが印刷された時点で、ジョブを自動的に削除するかどうかを設定します。
 - [ドキュメントの有効期限]：ストレージ機に蓄積されたプリントジョブのデータを自動的に削除するまでの時間を設定します。
 - [IPP タイムアウト (秒)]：IPP を使用して印刷するときのタイムアウト時間を設定します。
- 7 本体をクライアント機として使用する場合は、[クライアント機能] で [ON] を選択します。
 - [プロトコル設定]：ユビキタスプリントで使用するプロトコルを、[IPP] または [Raw] ポートから選択します。
 - [タイムアウト (秒)]：ストレージ機へ接続するときのタイムアウト時間を設定します。
- 8 [追加] をクリックします。
 本体の情報が、画面下の一覧に表示されます。
- 9 すべての本体をグループに追加したら、[インポートファイル作成] をクリックします。
 設定ファイルが、LK-114_SetupTool と同じフォルダーに作成されます。
- 10 LK-114_SetupTool を起動して、設定ファイルを読み込みます。
 - 設定ファイルを読み込む方法については、「ユビキタスグループ情報をインポートする」(p. 3-25) をご覧ください。



ひとこと

すでに追加されている本体の設定情報を変更するには、一覧から本体を選択して、[装置設定情報] で設定を変更します。設定を変更したあと、[適用] をクリックします。

4 ユビキタスプリント設定をする（管理者用）

ユビキタスプリントの設定を、本体で行うことができます。



ひとこと

ユビキタスプリントの設定を LK-114_SetupTool で設定した場合は、本体でユビキタスプリントの設定を行う必要はありません。

ここでは、本体の操作パネルでユビキタスプリントの設定を行う手順について説明します。

4.1 ユビキタスプリント設定について

ユビキタスグループとして使用する本体の「設定メニュー」でユビキタスプリント設定を行います。




「ユビキタスプリント設定」で設定できる項目は以下のとおりです。

- プリントストレージ機能設定
ストレージ機能の有効／無効を設定します。有効にすると、プリントジョブの取り扱いについても設定できます。詳しくは、「ユビキタスプリントのストレージ機能を設定する」(p. 4-2) をごらんください。
- クライアント機能設定
クライアント機能の有効／無効を設定します。有効にすると、ストレージ機との接続に関する設定もできます。詳しくは、「ユビキタスプリントのクライアント機能を設定する」(p. 4-8) をごらんください。
- ユビキタスグループ設定
ユビキタスグループとして運用する本体を登録します。本設定を行う本体（自機）を含めて 10 台までの本体を登録できます。詳しくは、「ユビキタスグループ設定をする」(p. 4-12) をごらんください。

4.2 ユビキタスプリントのストレージ機能を設定する

ストレージ機能の設定を行います。ストレージ機能の設定を有効にすると、有効にした本体にユーザーのコンピューターから送信されたプリントジョブが蓄積できるようになります。

「プリントストレージ機能設定」で設定できる項目は以下のとおりです。

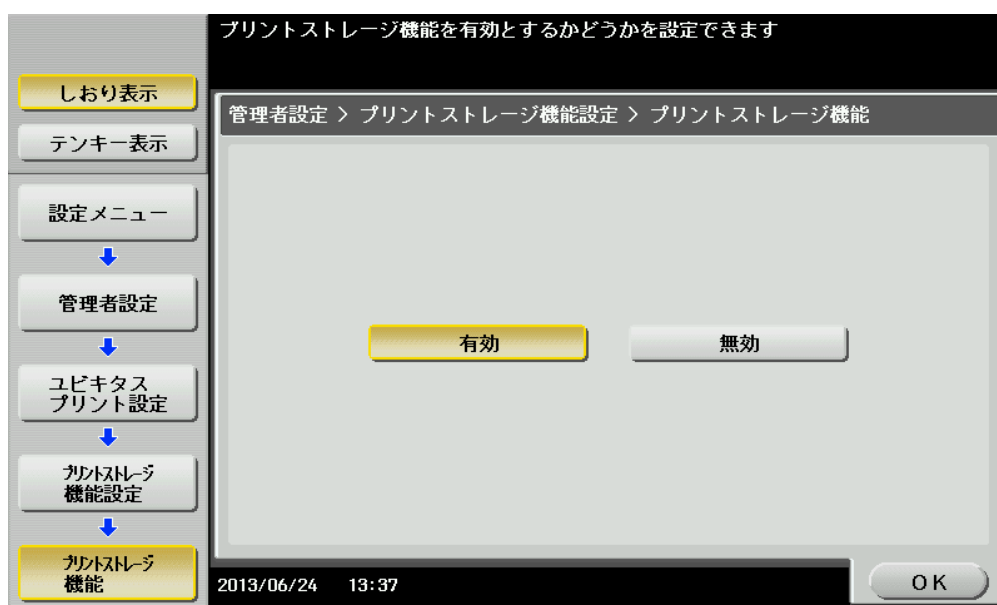
項目	内容
プリントストレージ機能	<p>ストレージ機能を「有効」または「無効」にします。</p> <p> ...</p> <p>ご注意 認証方式の設定によっては、ストレージ機能を有効に設定できません。認証方式については「認証設定」（p. 2-1）をごらんください。</p> <p>認証方式の設定が解除または別の認証方式に変更された場合、この設定は強制的に「無効」になります。</p> <p>セキュリティ強化モードが「無効」の場合のみ設定できます。セキュリティ強化モードが「無効」から「有効」に変更された場合、本設定は強制的に「無効」になります。</p> <p>「有効」から「無効」に変更された場合、ストレージ機に蓄積されているプリントジョブのデータがすべて削除されます。</p>
印字後削除設定	<p>ストレージ機に蓄積されたプリントジョブが印刷された時点で、ジョブを自動的に削除するかどうかを設定します。</p> <p> ...</p> <p>ひとつこと 本設定は、プリントストレージ機能の設定が「有効」の場合、設定できます。</p>
文書削除時間設定	<p>ストレージ機に蓄積されたプリントジョブのデータを自動的に削除するまでの時間を設定します。</p> <p> ...</p> <p>ひとつこと 本設定は、プリントストレージ機能の設定が「有効」の場合、設定できます。</p>
全文書削除	<p>ストレージ機に蓄積されているプリントジョブのデータをすべて削除します。</p> <p>この項目は、ユビキタスプリントを実行するために必要な設定項目ではなく、手動で全文書を削除するための機能です。</p> <p>手順について詳しくは、「文書を手動で削除する」（p. 4-7）をごらんください。</p>

4.2.1 ストレージ機能を有効にする

ユビキタスプリントのストレージ機能を有効にします。有効にすると、プリントジョブの取り扱いについても設定できます。

ストレージ機能を有効にする

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[プリントストレージ機能設定]－[プリントストレージ機能] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [有効] を選択し、[OK] をタップします。

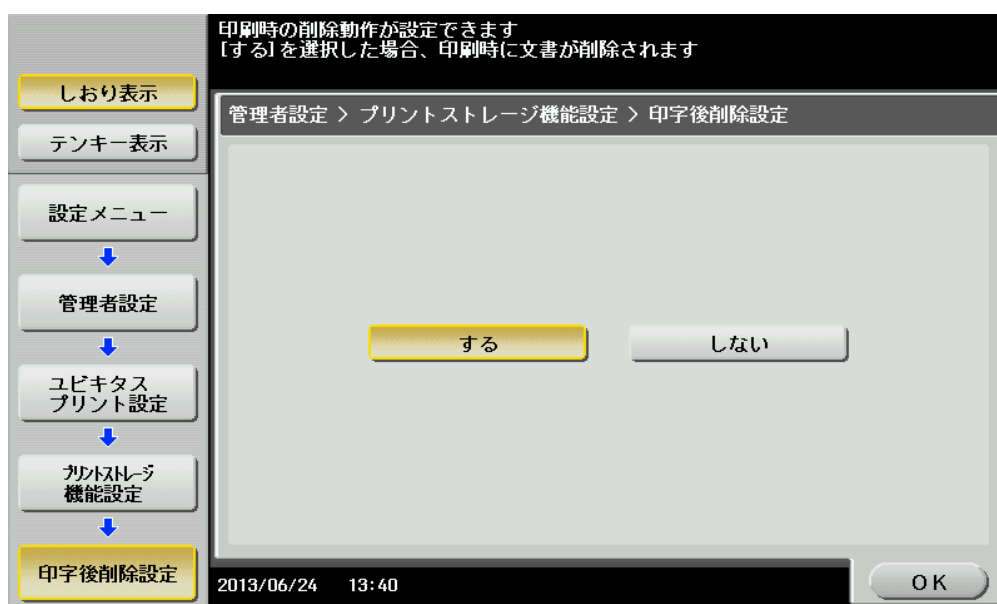


再起動を促すメッセージが表示されます。

- 3 本体を再起動します。

印字後削除設定をする

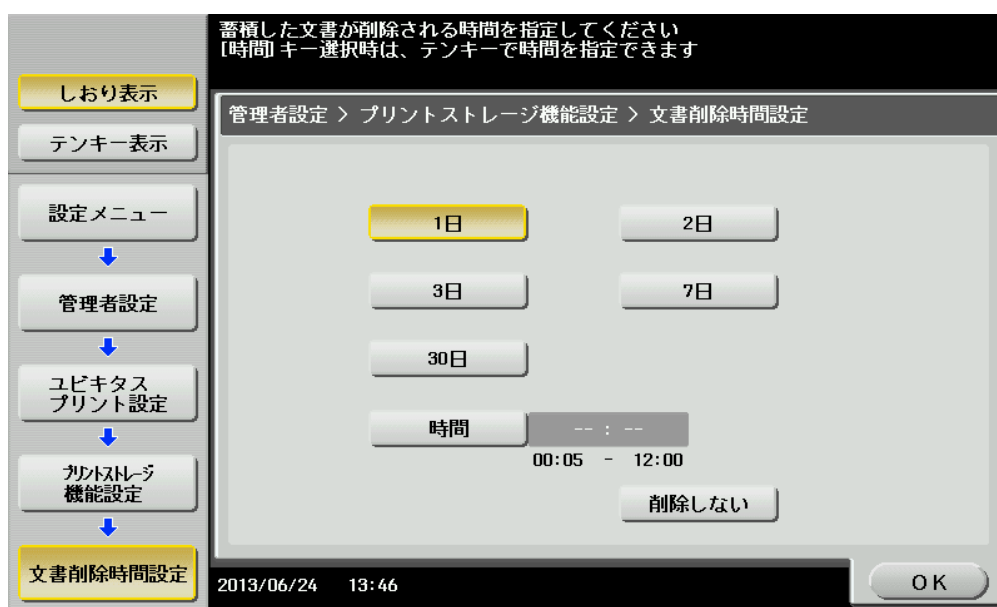
- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[プリントストレージ機能設定]－[印字後削除設定] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [する] または [しない] を選択します。
 - [する] を選択すると、プリントジョブが印刷された時点で文書が自動的に削除されます。
 - [しない] を選択すると、プリントジョブが印刷されても文書は削除されません。



- 3 [OK] をタップします。

文書削除時間設定をする

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[プリントストレージ機能設定]－[文書削除時間設定] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。
- 2 自動的に削除されるまでの期間を設定します。
 - この設定は、蓄積された文書に対しての設定です。文書が印刷されなくても、ここで設定された内容に従って処理されます。
 - [時間] を選択すると、00:05～12:00 の間で1分単位で指定できます。
 - [削除しない] を選択すると、文書は削除されません。



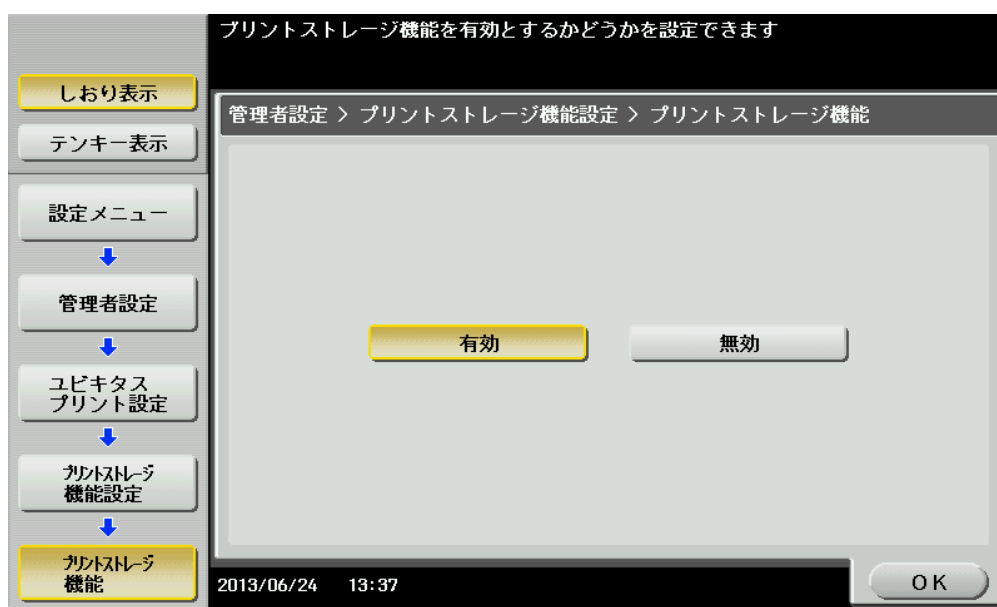
- 3 [OK] をタップします。

4.2.2 ストレージ機能を無効にする

ユビキタスプリントのストレージ機能を無効にします。無効にすると、ストレージ機に蓄積されているプリントジョブのデータがすべて削除されます。

ストレージ機能を無効にする

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[プリントストレージ機能設定]－[プリントストレージ機能] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [プリントストレージ機能] の[無効] をタップします。



- 3 [OK] をタップします。
全文書削除画面が表示されます。
- 4 [はい] を選択し、[OK] をタップします。
全文書が削除されます。



ご注意

データ処理中は、本体の主電源をオフにしないでください。

4.3 文書を手動で削除する

ストレージ機に蓄積されているプリントジョブのデータすべてを手動で削除します。

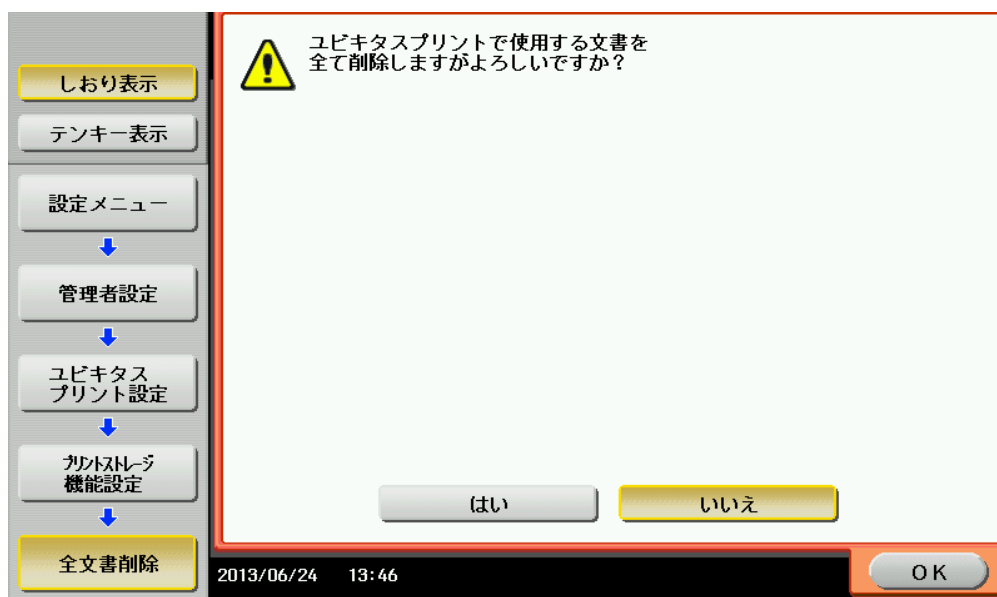


ご注意

プリントストレージ機能の設定が「無効」の場合は、全文書の削除はできません。

文書を手動で削除する

- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [システム連携] - [ユビキタスプリント設定] - [プリントストレージ機能設定] - [全文書削除] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。全文書削除画面が表示されます。
- 2 [はい] を選択し、[OK] をタップします。



すべての文書が削除されます。






ご注意

データ処理中は、本体の主電源をオフにしないでください。

4.4 ユビキタスプリントのクライアント機能を設定する

クライアント機能の設定を行います。クライアント機能の設定を有効にすると、有効にした本体からストレージ機に蓄積されたプリントジョブを印刷できるようになります。

〔クライアント機能設定〕で設定できる項目は以下のとおりです。

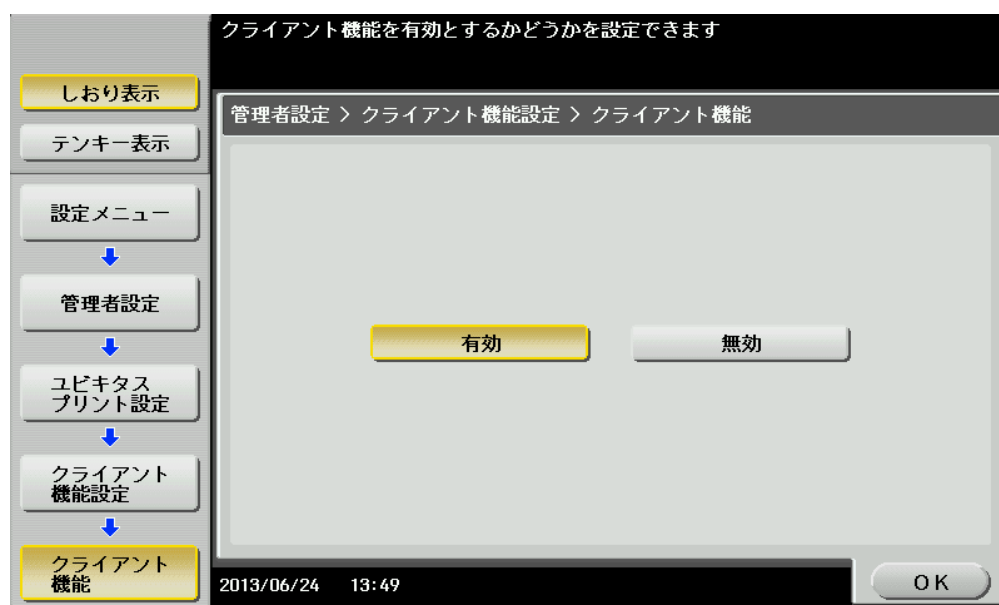
項目	内容
クライアント機能	<p>クライアント機能を〔有効〕または〔無効〕にします。</p> <p> ...</p> <p>ご注意 本設定は、セキュリティ強化モードが〔無効〕の場合、設定できます。セキュリティ強化モードが〔無効〕から〔有効〕に変更された場合、この設定は強制的に〔無効〕になります。</p>
プロトコル設定	<p>ユビキタスプリントで使用するプロトコルを設定します。〔IPP〕または〔RAW ポート〕を選択できます。</p> <p> ...</p> <p>ひとつこと 本設定は、クライアント機能の設定が〔有効〕の場合、設定できます。</p> <p>本設定は、IPP 設定が〔有効〕の場合、〔IPP〕に設定できます。</p>
接続タイムアウト設定	<p>ストレージ機へ接続するときのタイムアウト時間を設定します。</p> <p> ...</p> <p>ひとつこと 本設定は、クライアント機能の設定が〔有効〕の場合、設定できます。</p>

4.4.1 クライアント機能を有効にする

ユビキタスプリントのクライアント機能を有効にします。有効にすると、ストレージ機との接続に関する設定ができます。

クライアント機能を有効にする

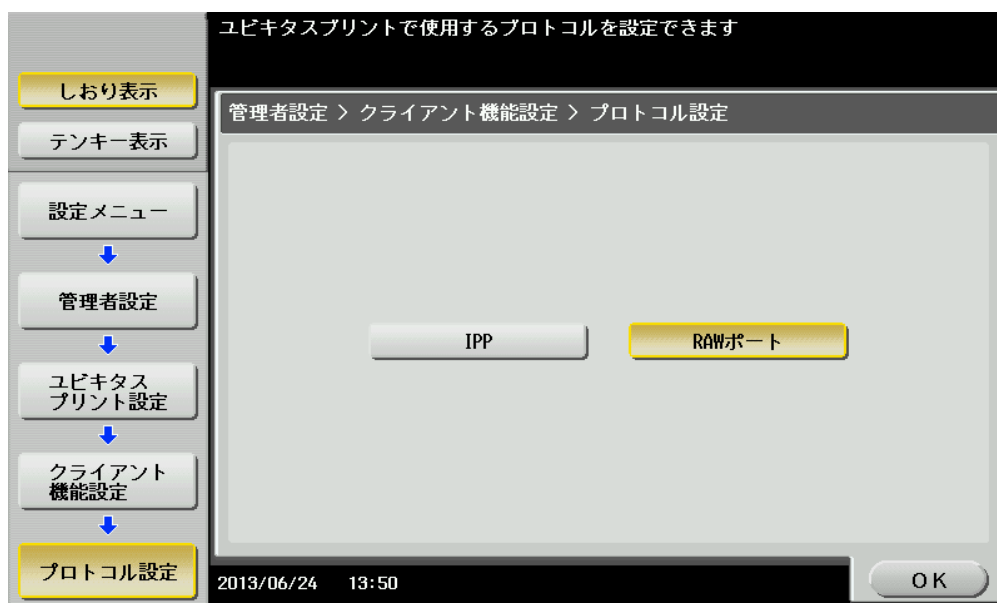
- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[クライアント機能設定]－[クライアント機能] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [有効] を選択し、[OK] をタップします。



プロトコルを設定する

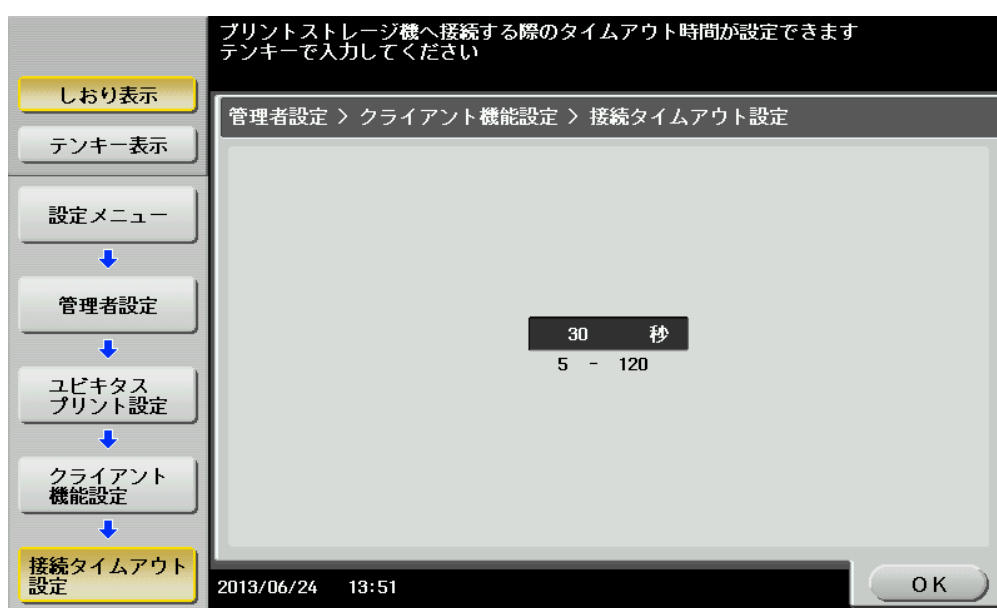
- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[クライアント機能設定]－[プロトコル設定] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。

- 2 [IPP] または [RAW ポート] を選択し、[OK] をタップします。



接続タイムアウト時間を設定する

- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [システム連携] - [ユビキタスプリント設定] - [クライアント機能設定] - [接続タイムアウト設定] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。
- 2 ストレージ機へ接続するときのタイムアウトするまでの時間を設定します。
 - 5 ~ 120 の間で 1 秒単位で指定できます。



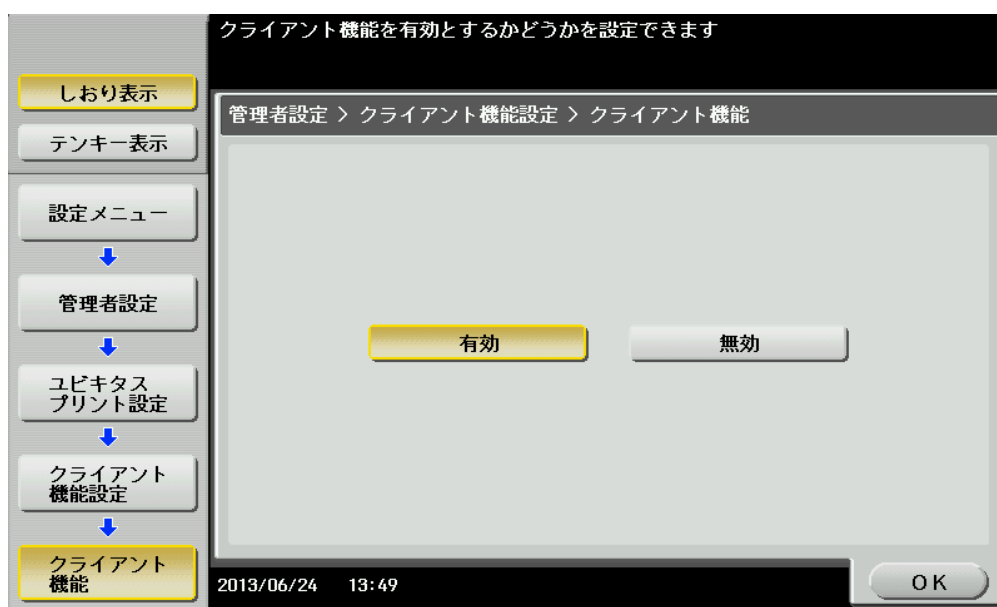
- 3 [OK] をタップします。

4.4.2 クライアント機能を無効にする

ユビキタスプリントのクライアント機能を無効にします。無効にすると、この本体からストレージ機に蓄積されたプリントジョブの印刷ができなくなります。

クライアント機能を無効にする

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[クライアント機能設定]－[クライアント機能] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [無効] を選択し、[OK] をタップします。



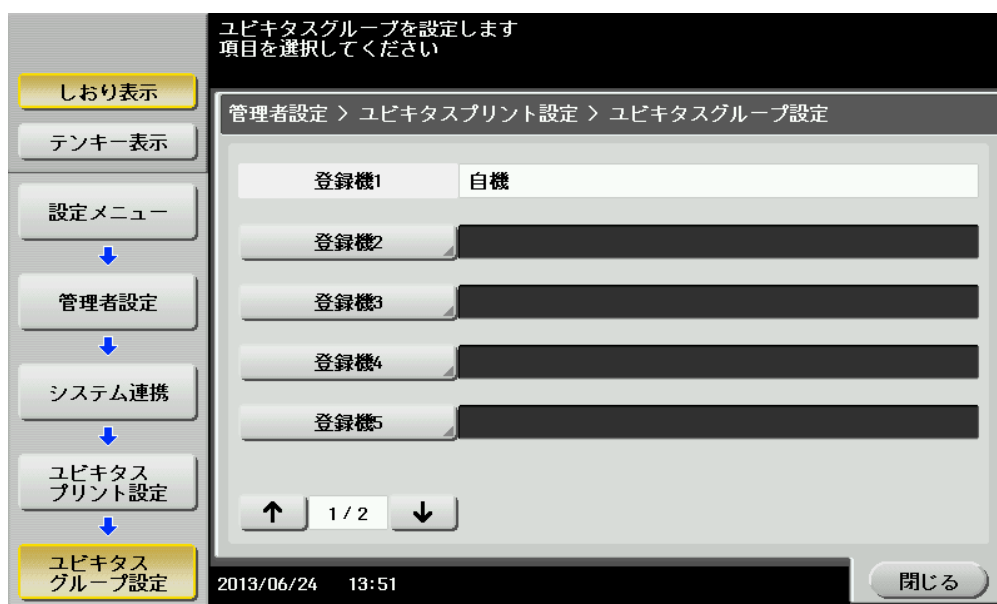
4.5 ユビキタスグループ設定をする

ユビキタスグループとして運用する本体を登録します。設定を行う本体（自機）を含めて 10 台までの本体を登録できます。

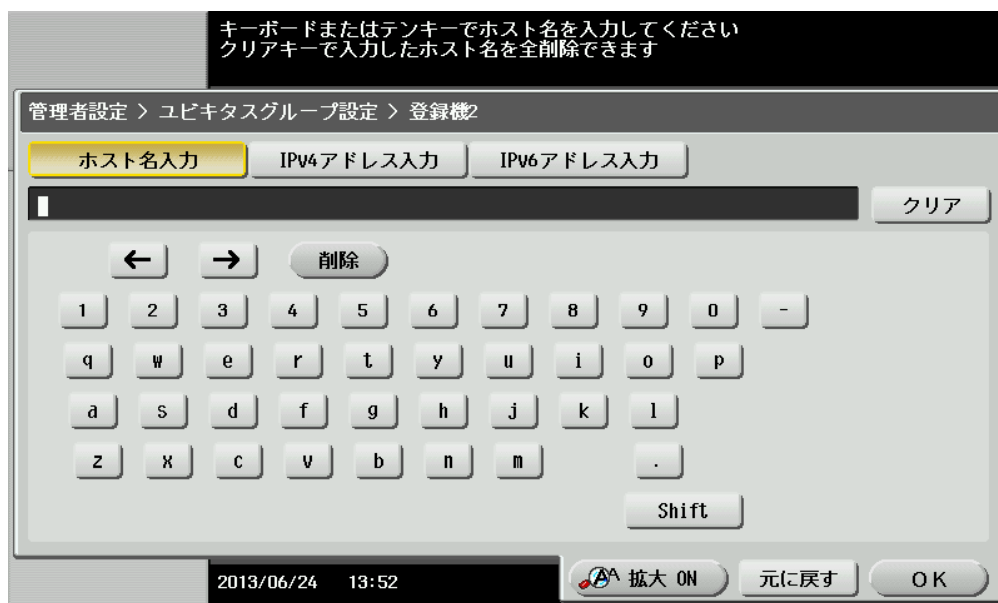
ユビキタスグループで使用するすべての本体で、本設定を行ってください。

4.5.1 ユビキタスグループ設定をする

- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [システム連携] - [ユビキタスプリント設定] - [ユビキタスグループ設定] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [登録機 2] ~ [登録機 10] をタップします。



- 3 登録機の指定方法（[ホスト名入力] [IPv4 アドレス入力] [IPv6 アドレス入力]）を選択し、ユビキタスグループに登録する本体を指定します。



- 4 [OK] をクリックします。

入力した本体がユビキタスグループに登録され、ユビキタスグループ設定画面に戻ります。
続けて本体に登録する場合は、手順 2 ～ 4 を行ってください。



ひとこと

本体に登録する画面と手順については、「ホスト名で登録する場合」（p. 4-14）、「IPv4 アドレスで登録する場合」（p. 4-15）、「IPv6 アドレスで登録する場合」（p. 4-15）をごらんください。

ホスト名で登録する場合

ユビキタスグループ設定画面で「ホスト名入力」を選択すると、ホスト名入力画面が表示されます。

ユビキタスグループに登録する本体のホスト名を入力し、「OK」をクリックしてください。

The screenshot shows a software interface for setting a host name. At the top, a black banner contains white text: "キーボードまたはテンキーでホスト名を入力してください" (Please enter the host name using the keyboard or numeric keypad) and "クリアキーで入力したホスト名を全削除できます" (You can delete all host names entered using the clear key). Below this, a breadcrumb path reads "管理者設定 > ユビキタスグループ設定 > 登録機2". There are three tabs: "ホスト名入力" (Host Name Input), "IPv4 アドレス入力" (IPv4 Address Input), and "IPv6 アドレス入力" (IPv6 Address Input). The "ホスト名入力" tab is selected and highlighted in yellow. Below the tabs is a text input field with a cursor. To the right of the field is a "クリア" (Clear) button. Below the input field is a numeric keypad with buttons for digits 1-0, a hyphen/underscore, and letters q-w, e-r, t-y, u-i, o-p, a-s, d-f, g-h, j-k, l, z-x, c-v, b-n, m, and a period/semicolon. There are also navigation buttons: left arrow, right arrow, and a "削除" (Delete) button. At the bottom right of the keypad is a "Shift" button. The bottom status bar shows the date and time "2013/06/24 13:52", a magnifying glass icon with "拡大 ON" (Zoom ON), a "元に戻す" (Reset) button, and an "OK" button.



ご注意

ホスト名で本体を登録する場合は、ドメイン名（例：Ubiquitous1.konicaminolta.local の最初の「.」以降）は省いて、ホスト名のみを設定する必要があります。

そのため、ドメインが異なる場合であっても、ホスト名は一意である必要があります。

IPv4 アドレスで登録する場合

ユビキタスグループ設定画面で「IPv4 アドレス入力」を選択すると、IPv4 アドレス入力画面が表示されます。

ユビキタスグループに登録する本体の IPv4 の IP アドレスを入力し、[OK] をクリックしてください。

キーボードまたはテンキーでアドレスを入力してください
クリアキーで入力したアドレスを全削除できます

管理者設定 > ユビキタスグループ設定 > 登録機2

ホスト名入力 IPv4 アドレス入力 IPv6 アドレス入力

192. 168. 10. 100 クリア

← 削除 →

1 2 3 4 5
6 7 8 9 0

2013/06/24 13:53 元に戻す OK

IPv6 アドレスで登録する場合

ユビキタスグループ設定画面で「IPv6 アドレス入力」を選択すると、IPv6 アドレス入力画面が表示されます。

ユビキタスグループに登録する本体の IPv6 の IP アドレスを入力し、[OK] をクリックしてください。

キーボードまたはテンキーでアドレスを入力してください
クリアキーで入力したアドレスを全削除できます

管理者設定 > ユビキタスグループ設定 > 登録機2

ホスト名入力 IPv4 アドレス入力 IPv6 アドレス入力

1234:1234:abcd:abcd:1234:6789:aabb:ccdd クリア

← 削除 →

1 2 3 4 5
6 7 8 9 0
a b c d e f

2013/06/24 13:55 元に戻す OK

5 トップメニューにショートカットキーを追加する（管理者用）

5.1 トップメニューにショートカットキーを追加する

ユビキタスグループに設定した本体のトップメニューにユビキタスプリントのショートカットキーを配置します。

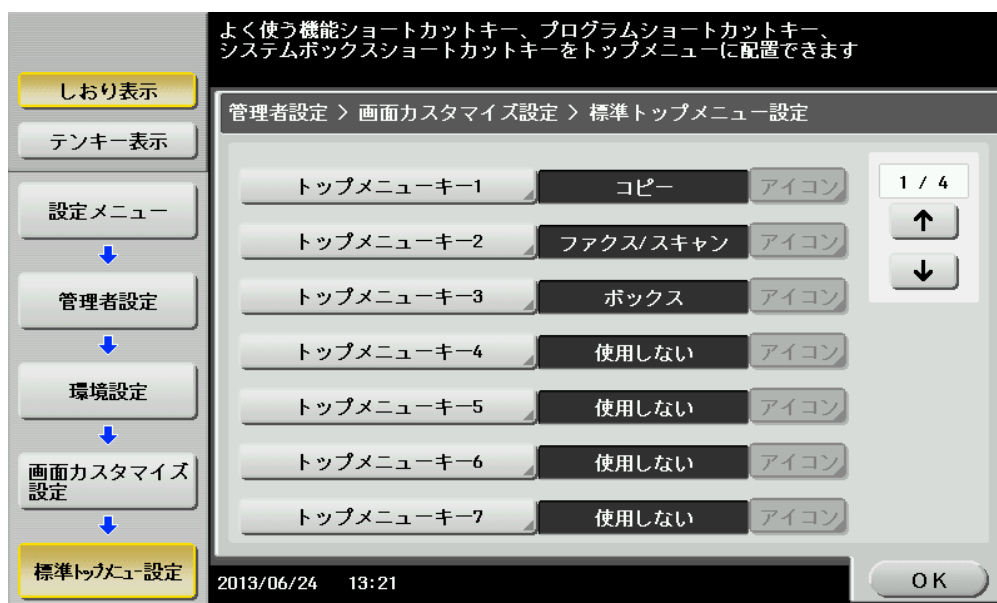


ご注意

ユビキタスプリント設定のクライアント機能が有効になっていないと、本設定はできません。

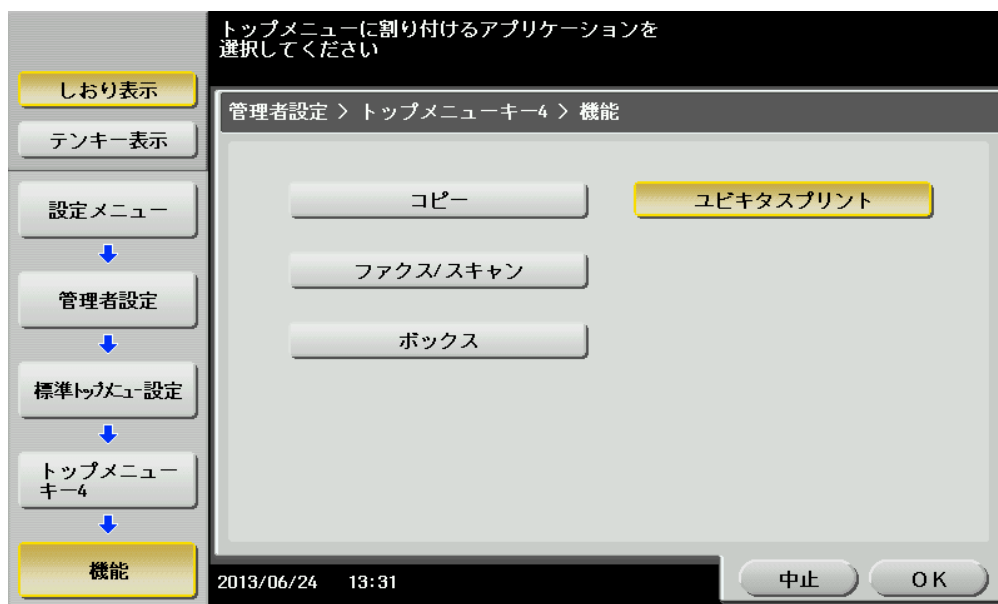
ショートカットキーの追加手順

- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [画面カスタマイズ設定] - [標準トップメニュー設定] をタップします。
 - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 使用されていない [トップメニューキー] を選択します。



- 3 [使用する] を選択し、[機能] をタップします。

4 「ユビキタスプリント」を選択し、「OK」をタップします。



ショートカットキーを追加すると、トップメニューに「ユビキタスプリント」のショートカットキーが表示されます。

6 プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort のインストール

ユーザーのコンピュータでユビキタスプリント機能を利用するためには、使用する本体に対応したプリンタードライバーと LK-114_ManagerPort をインストールすることが必要になります。

インストール順序は以下のとおりです。

1. LK-114_ManagerPort
2. プリンタードライバー

ユーザーのコンピュータに管理者権限がある場合

- プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort を、ユーザーのコンピュータに配布し [Setup.exe] からインストールしてください。LK-114_ManagerPort は、[LK-114_InstallerCreateTool] > [InstForm] フォルダー内に含まれています。

ユーザーのコンピュータに管理者権限がない場合

- 管理者権限がなくてもインストールが実行できる LK-114_InstallTool を作成し、ユーザーに配布します。LK-114_InstallTool は、LK-114_InstallerCreateTool を使用して作成します。また、プリンタードライバーや LK-114_ManagerPort の設定を自動で行うように設定することもできます。LK-114_InstallTool の作成について詳しくは、「LK-114_InstallTool の作成（管理者用）」(p. 6-2) をご覧ください。

6.1 LK-114_InstallTool の作成（管理者用）

ここでは LK-114_InstallTool の作成手順について説明します。
LK-114_InstallTool を利用して、管理者権限のないユーザーのコンピュータに、プリンタードライバーおよび LK-114_ManagerPort をインストールする手順について詳しくは「LK-114_InstallTool からの手動インストール」(p. 6-15) をごらんください。

6.1.1 LK-114_InstallerCreateTool について

LK-114_InstallerCreateTool は、ユーザーのコンピュータに配布する LK-114_InstallTool を作成するツールです。配布された LK-114_InstallTool を使用することで、ユーザーのコンピュータでコピキタスプリント機能を利用できるように設定できます。

LK-114_InstallerCreateTool を使用すると、プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort のインストーラー、およびその設定ファイルを、LK-114_InstallTool として 1 つのパッケージにまとめることができます。このとき、ユーザーのコンピュータに管理者権限がない場合でもインストールができるように、管理者のユーザー ID やパスワードなどの認証情報を LK-114_InstallTool に埋め込むことができます。

あらかじめ LK-114_InstallerCreateTool を準備し、任意のフォルダーにコピーしてください。

6.1.2 事前準備

LK-114_InstallerCreateTool で LK-114_InstallTool を作成するには、事前にプリンタードライバーセットアップファイルを準備します。

プリンタードライバーセットアップファイルは、管理者 ID、ドメイン、パスワードを埋め込んだプリンタードライバーです。

プリンタードライバーセットアップファイルを作成する前に、以下のことを確認してください。

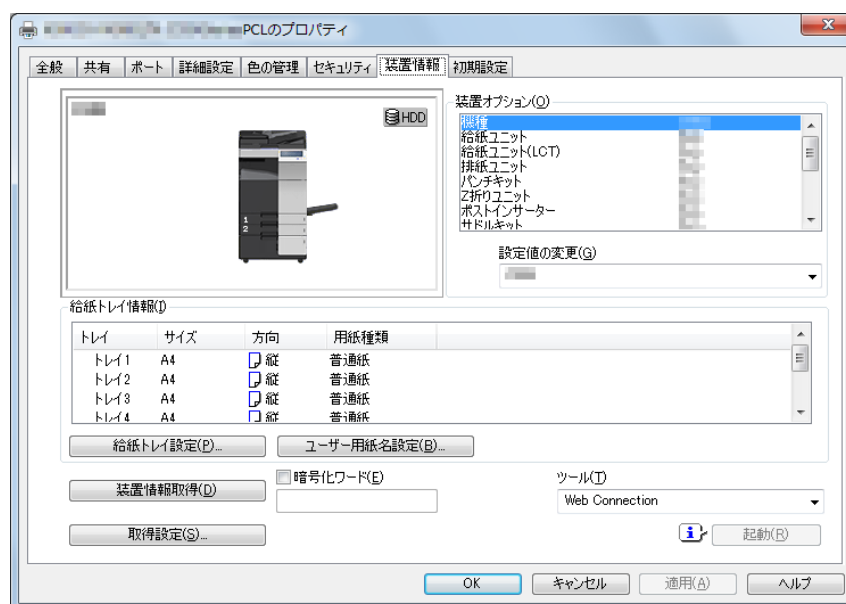
- Driver Packaging Utility を使用する前に、プリンタードライバーセットアップファイルに使用するプリンタードライバーを、コンピュータにインストールしてください。プリンタードライバーのインストール手順は、本体のユーザーガイド「プリンター機能編」をごらんください。
- プリンタードライバーセットアップファイルの作成には Driver Packaging Utility を使用します。あらかじめ Driver Packaging Utility を準備し、任意のフォルダーにコピーしてください。
- プリンタードライバーセットアップファイル作成時、管理者権限を持つユーザーのユーザー名、ドメイン、パスワードが必要になりますので、確認してください。

作成手順について詳しくは「Driver Packaging Utility を使用したプリンタードライバーセットアップファイルの作成」(p. 6-3) をごらんください。

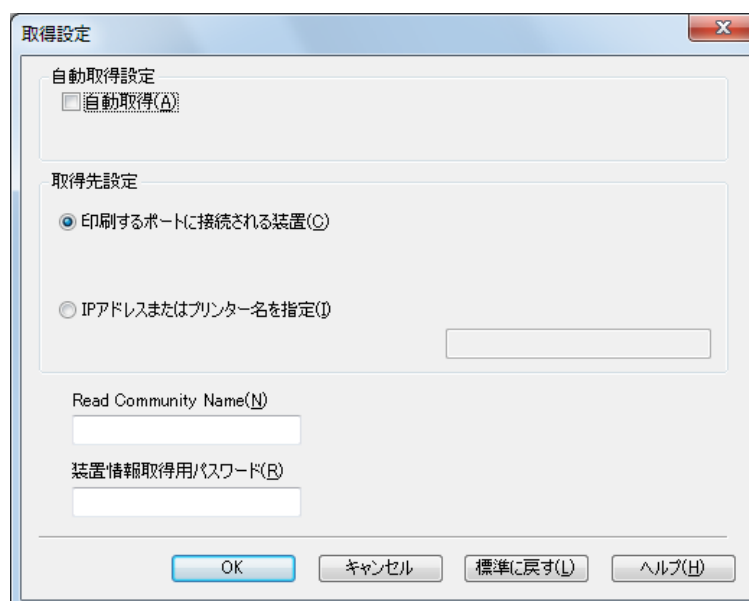
Driver Packaging Utility を使用したプリンタードライバーセットアップファイルの作成

ここでは Windows 7 の場合で説明します。

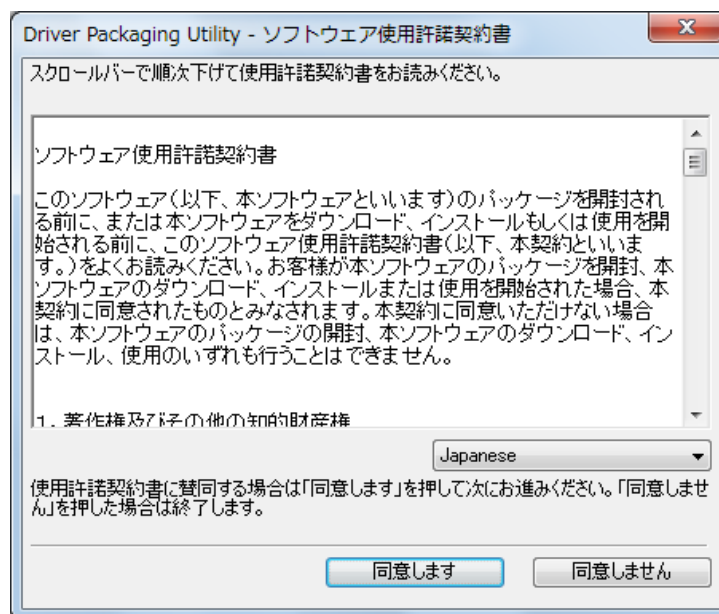
- 1 [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] を選択します。
- 2 使用するプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。
- 3 [装置情報] タブを選択し、[取得設定] をクリックします。



- 4 [自動取得] のチェックを外し、[OK] をクリックします。

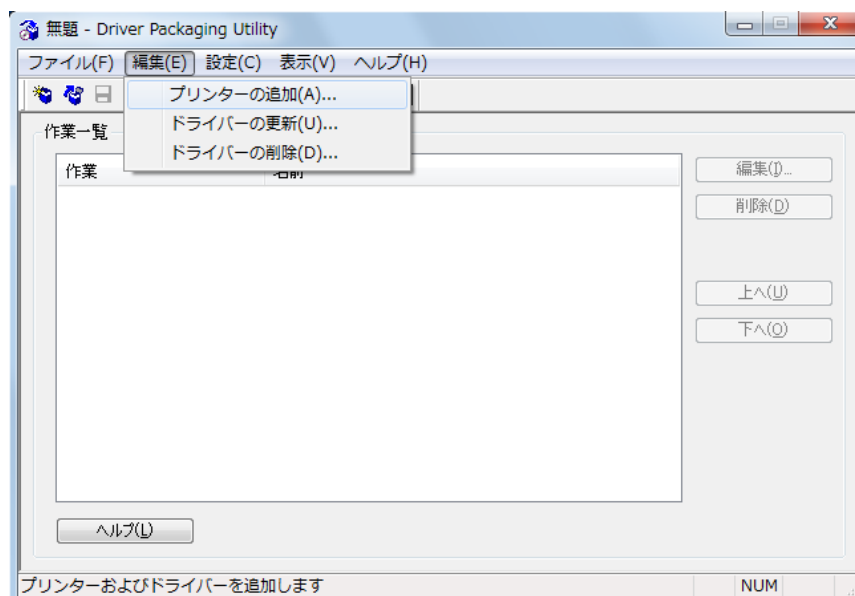


- 5 DPU.exe をダブルクリックし、Driver Packaging Utility を起動します。
 - OS が Windows Vista、7 の場合、警告画面が表示されますので、許可してください。
- 6 [同意します] をクリックします。



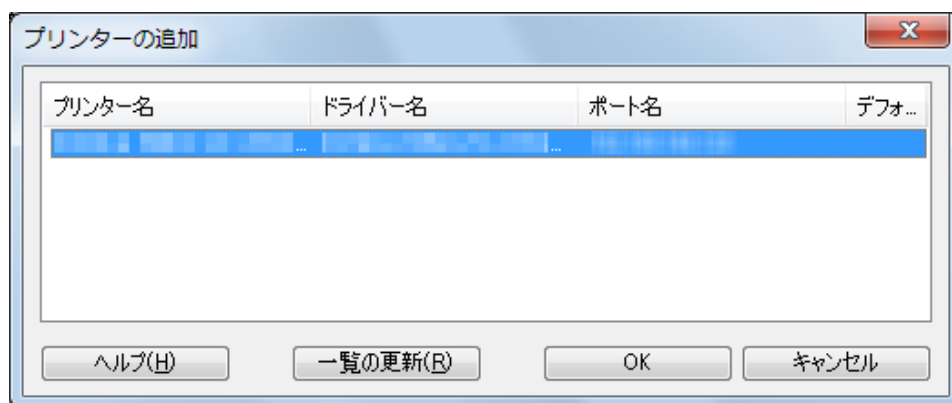
Driver Packaging Utility の画面が表示されます。

- 7 [編集] - [プリンターの追加] を選択します。

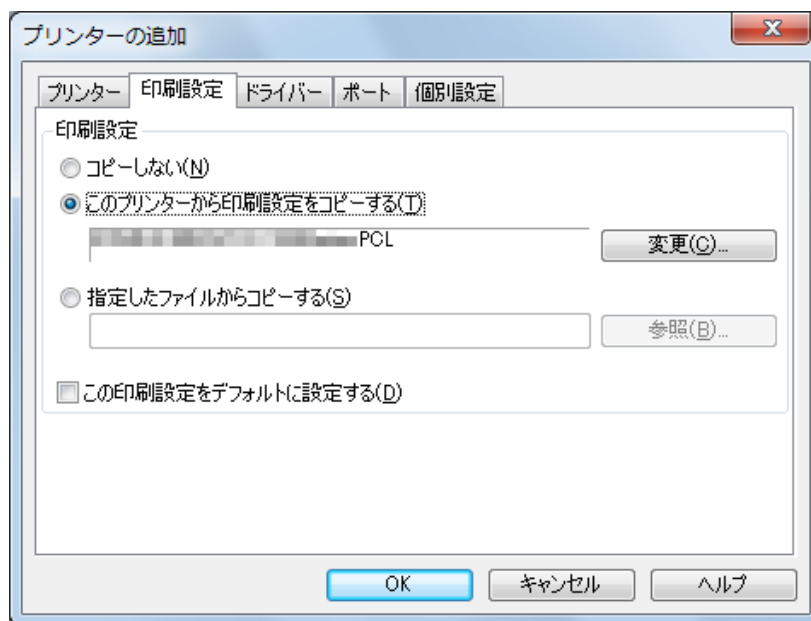


プリンターの追加画面に、コンピュータにインストールされている Standard TCP/IP Port のプリンターが一覧表示されます。

- 8 LK-114_ManagerPort で使用するプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。

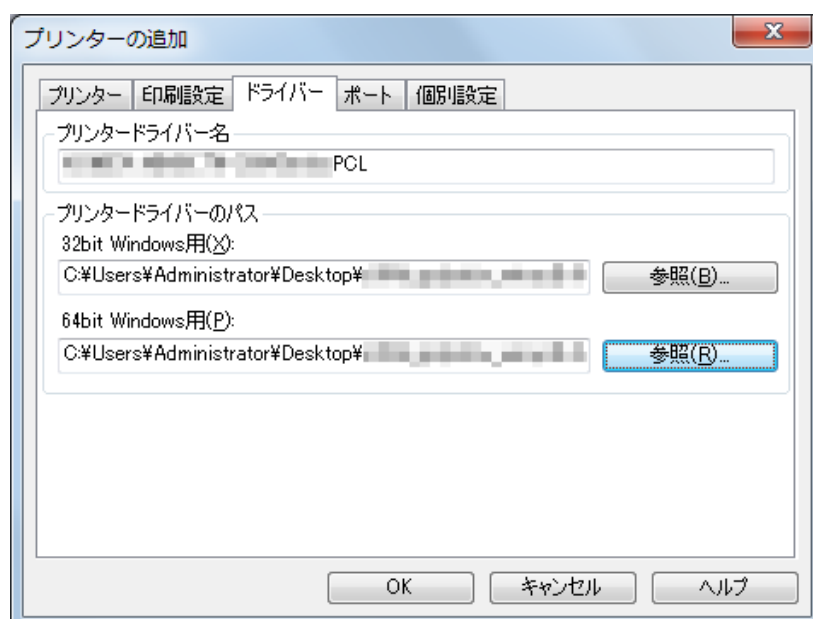


- 9 [印刷設定] タブで、[このプリンターから印刷設定をコピーする] を選択します。

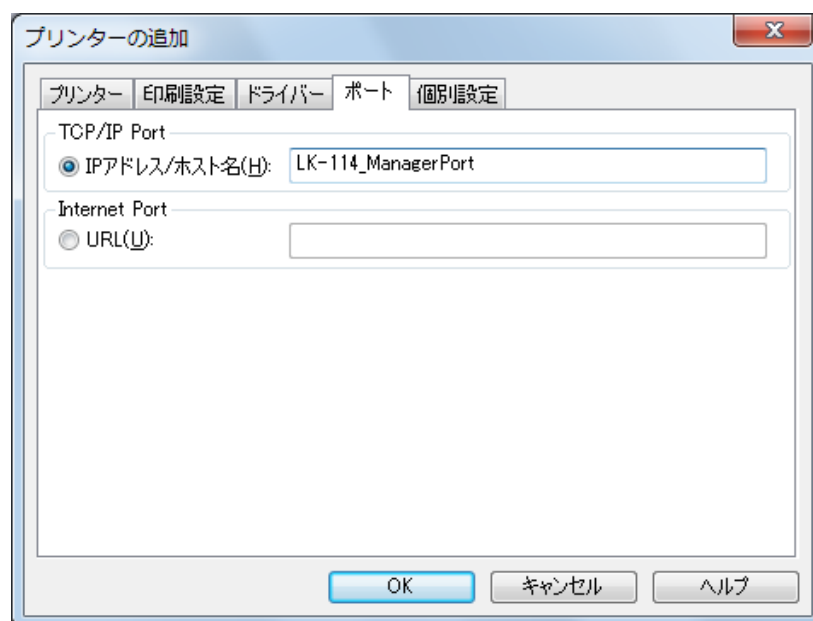


10 [ドライバー] タブでプリンタードライバーを指定し、[OK] をクリックします。

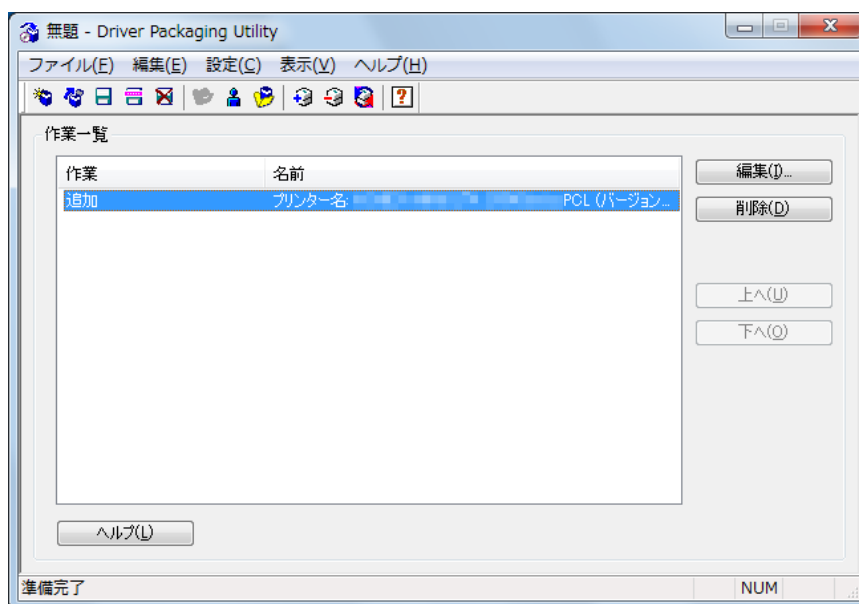
- [参照] をクリックし、[プリンタードライバーのパス] を指定します。
- ここで指定するパスは、Program Files - KONICA MINOLTA フォルダーにインストールされたプリンタードライバーファイルではなく、インストール前のプリンタードライバーフォルダーのプリンタードライバーファイルを指定する必要があります。



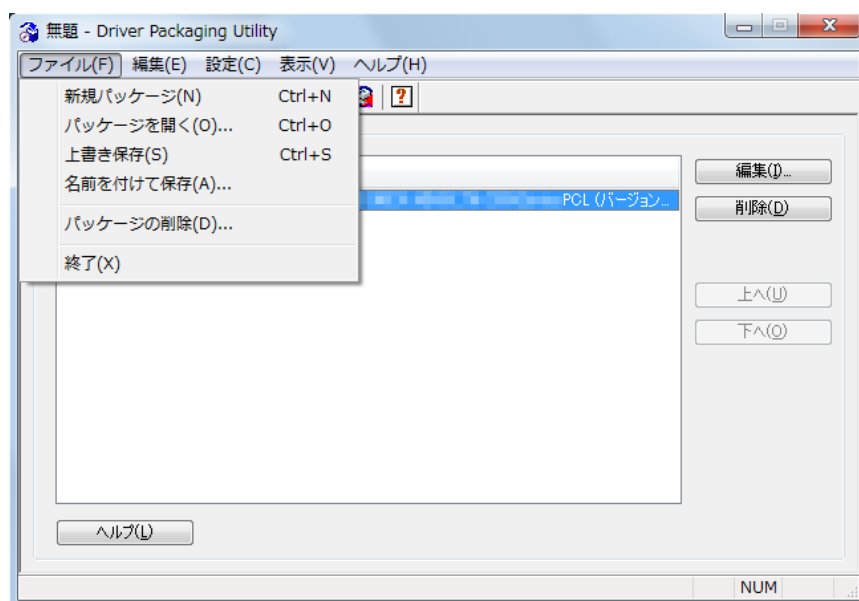
11 [ポート] タブの [IP アドレス / ホスト名] 欄に「LK-114_ManagerPort」と入力し、[OK] をクリックします。



作業一覧に追加したプリンター名が表示されます。

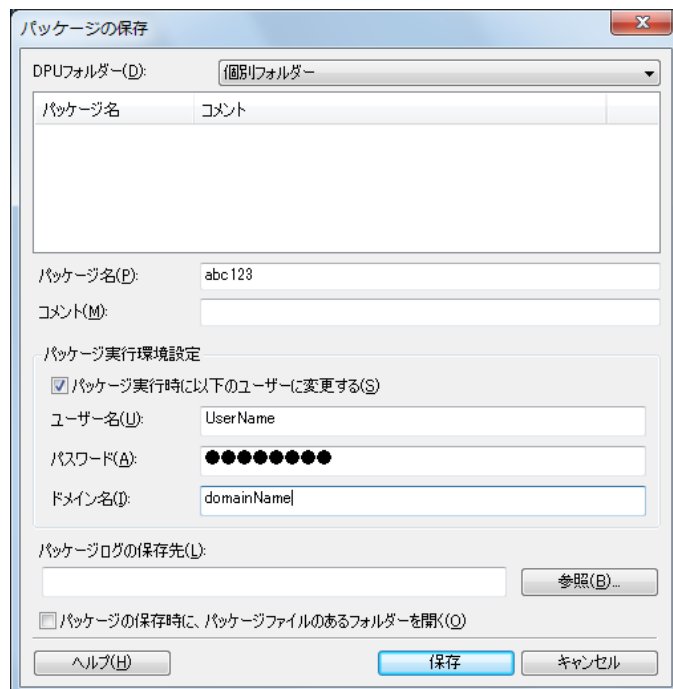


12 [ファイル] - [名前を付けて保存] を選択します。



13 必要な項目を入力します。

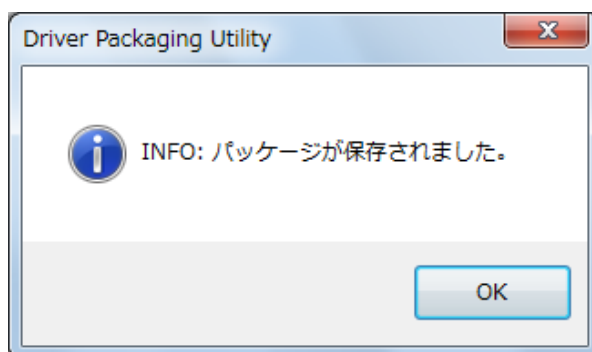
- [パッケージ名] に任意の名称を入力します。
- [パッケージ実行時に以下のユーザーに変更する] をチェックし、配布先の管理者権限を持つユーザーのユーザー名、パスワード、ドメインを入力します。



14 [保存] をクリックします。

パッケージ（プリンタードライバーセットアップファイル）が作成されます。

15 完了画面で [OK] をクリックします。



ひとこと

プリンタードライバーセットアップファイル作成後、自動取得設定画面（手順 4）ではずした「自動取得」のチェックは、必要に応じて元に戻してください。

6.1.3 LK-114_InstallTool の作成と配布

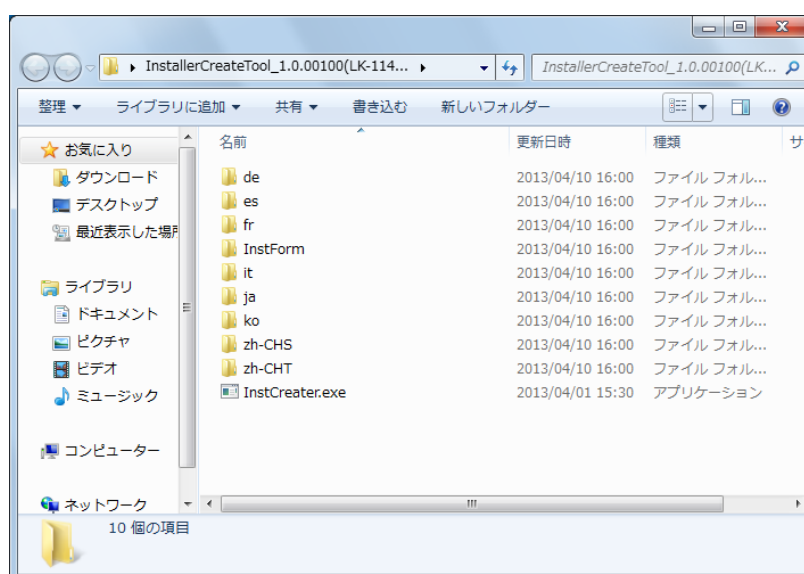
LK-114_InstallTool の作成と配布を行います。

LK-114_InstallTool の作成手順

LK-114_InstallTool の作成を行う前に、以下のことを確認してください。

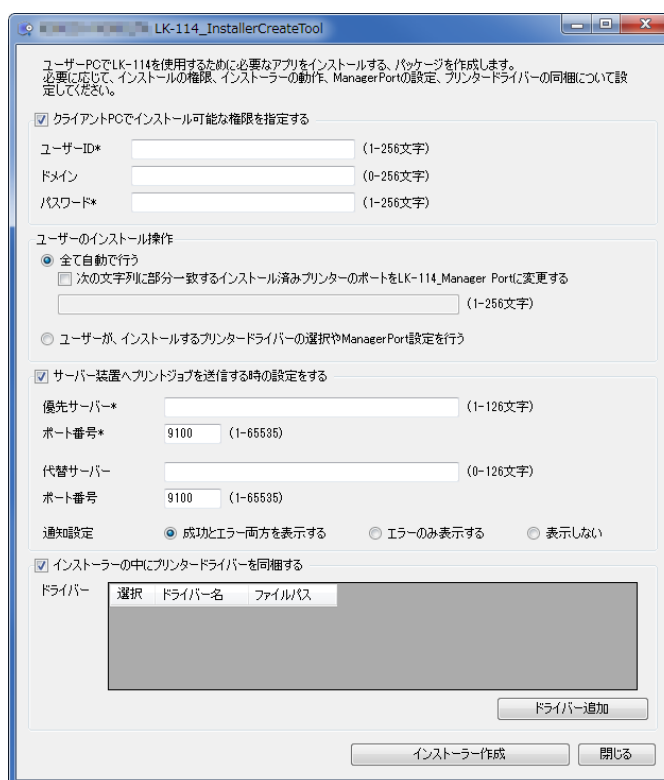
- ✓ LK-114_InstallTool を実行するユーザーが自分のコンピューターに管理者権限を持たない場合は、管理者権限を持つユーザーのユーザー ID、ドメイン、パスワードを確認する
- ✓ LK-114_InstallerCreateTool がコンピューターに準備されている

- 1 [InstCreator.exe] をダブルクリックし、LK-114_InstallerCreateTool を起動します。



2 [クライアント PC でインストール可能な権限を指定する] で、LK-114_ManagerPort をインストールするときの権限を設定します。

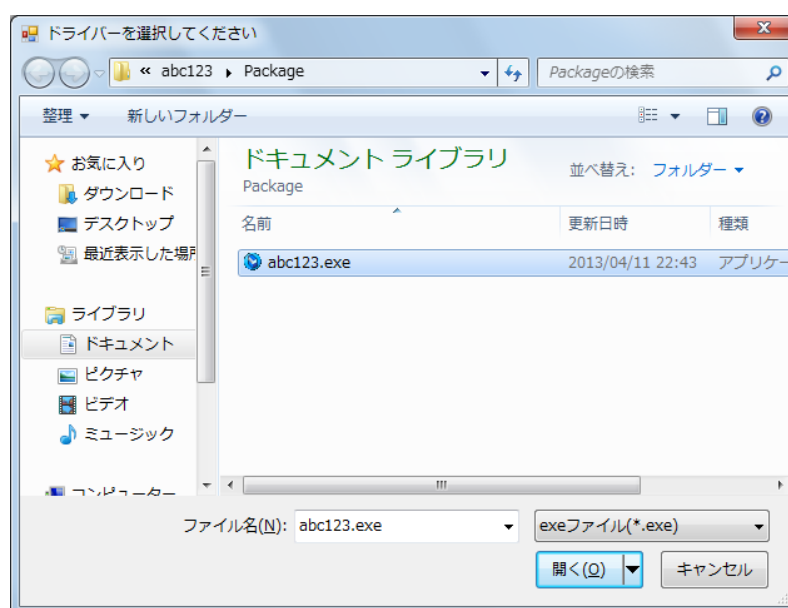
- LK-114_InstallTool を実行するユーザーが、自分のコンピューターに対して管理者権限を持たない場合は、管理者権限を持つユーザーの [ユーザー ID]、[ドメイン]、[パスワード] を入力します。
- LK-114_InstallTool を実行するユーザーが、自分のコンピューターに対して管理者権限を持っている場合は、[クライアント PC でインストール可能な権限を指定する] のチェックを外します。この場合、LK-114_InstallTool の [invoke.exe] を実行したユーザーの権限で、インストールが行われます。



3 [ユーザーのインストール操作] で、プリンタードライバーやLK-114_ManagerPort の設定をユーザーが行うかどうかを選択します。

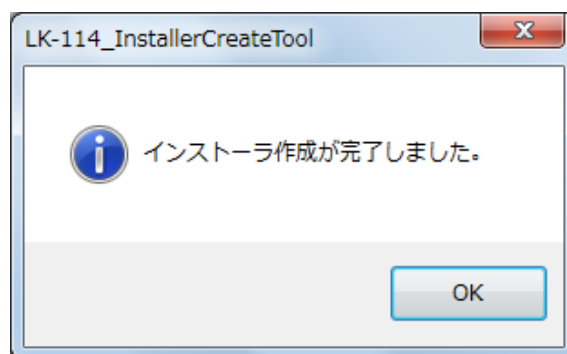
- [全て自動で行う] を選択すると、ユーザーは設定を行う必要はありません。
- すでにユーザーのコンピューターにインストールされているプリンタードライバーをLK-114_ManagerPort で使用できるようにする場合は、[全て自動で行う] を選択し、[次の文字列に部分一致するインストール済みプリンターのポートをLK-114_Manager Port に変更する] にチェックをつけてから、テキストボックスにプリンタードライバーの名前を入力します。
- ユーザーが設定を行う場合は、[ユーザーが、インストールするプリンタードライバーの選択や ManagerPort 設定を行う] を選択します。

- 4 [サーバー装置へプリントジョブを送信する時の設定をする] で、プリントジョブの送信に関する設定をします。
- [優先サーバー] と [代替サーバー] に、ユーザーのコンピュータからプリントジョブを送信する本体の IP アドレスと、使用するポート番号をそれぞれ入力します。
 - [通知設定] で、プリントジョブを送信したときのメッセージを表示するかどうかを選択します。
 - プリントジョブの送信に関する設定を行わない場合は、[サーバー装置へプリントジョブを送信する時の設定をする] のチェックを外します。
- 5 [インストーラーの中にプリンタードライバーを同梱する] で、LK-114_InstallTool にプリンタードライバーを同梱するかどうかを設定します。
- LK-114_InstallTool にプリンタードライバーを同梱する場合は、[インストーラーの中にプリンタードライバーを同梱する] にチェックをつけ、[ドライバー追加] をクリックします。手順 6 へ進みます。
 - LK-114_InstallTool にプリンタードライバーを同梱しない場合は、[インストーラーの中にプリンタードライバーを同梱する] のチェックを外し、[インストーラー作成] をクリックします。手順 8 へ進みます。
- 6 Driver Packaging Utility で作成したフォルダーを指定してから、プリンタードライバーセットアップファイルを選択し、[開く] をクリックします。
- ユーザーのコンピュータに対応するプリンタードライバーを指定してください。

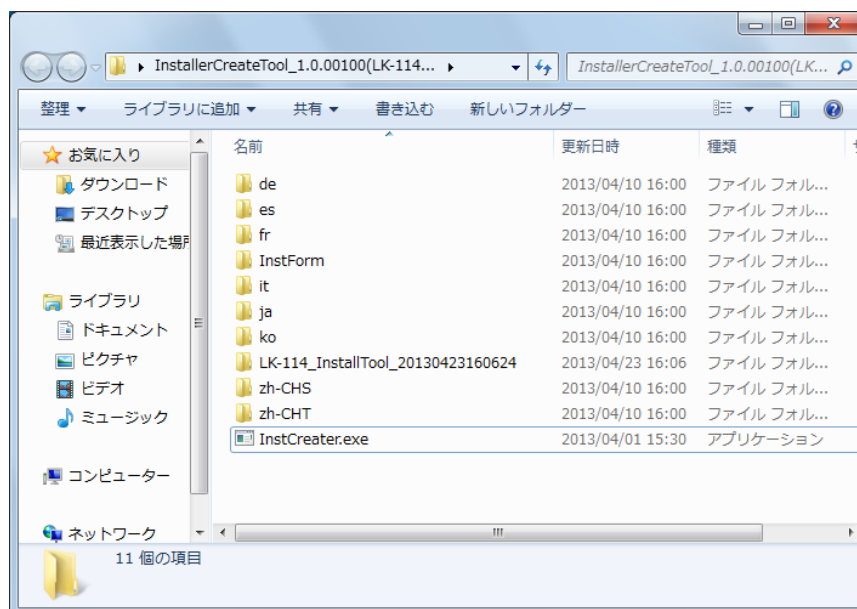


- 7 使用するプリンタードライバーを選択し、[インストーラー作成] をクリックします。
 - [ドライバー名] は変更することができます。必要に応じて、配布時にわかりやすいドライバー名を付けてください。
(例: abc123.exe → 3 階用プリンタードライバー)

LK-114_InstallTool が作成されます。
- 8 完了画面で [OK] をクリックします。



LK-114_InstallerCreateTool フォルダーに配布用の LK-114_InstallTool_yyyymmddhhmmss フォルダーが作成されます。(yyyymmddhhmmss は LK-114_InstallTool を作成した日時です。)



- 9 LK-114_InstallTool_yyyymmddhhmmss フォルダーをユーザーのコンピューターに配布します。
 - 装置定義ファイルを配布する場合は、LK-114_InstallTool_yyyymmddhhmmss フォルダーと同じ階層に装置定義ファイルを配置してください。



...

ひとこと

装置定義ファイルは、LK-114_ManagerPort の設定で装置情報の入力を容易にするファイルです。装置定義ファイルがなくても、装置情報は直接入力することができます。必要に応じて準備してください。装置定義ファイルについて詳しくは、「装置定義ファイルについて」(p. 10-1) をご覧ください。

6.2 LK-114_InstallTool からの自動インストール

管理者から配布された LK-114_InstallTool を使用して、プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort のインストールを行います。

ここでは、LK-114_InstallerCreateTool で LK-114_InstallTool を作成したときに、[ユーザーのインストール操作] で [全て自動で行う] を選択した場合の手順を説明します。

LK-114_InstallTool が準備されていない場合は、管理者に確認してください。

- 1 管理者から配布された LK-114_InstallTool の [invoke.exe] をダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

- 2 画面の指示に従います。

LK-114_ManagerPort のインストールとプリンタードライバーのインストール、LK-114_ManagerPort の設定が自動で行われます。

6.3 LK-114_InstallTool からの手動インストール

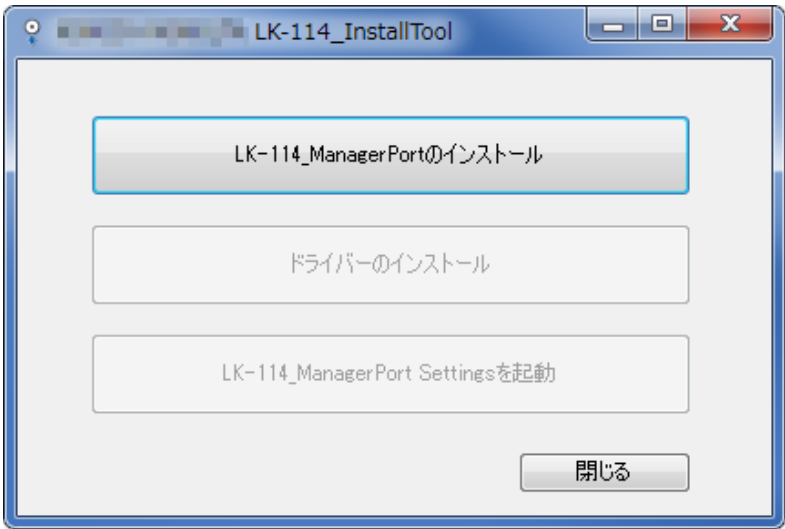
管理者から配布された LK-114_InstallTool を使用して、プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort のインストールを行います。


ここでは、LK-114_InstallerCreateTool で LK-114_InstallTool を作成したときに、[ユーザーのインストール操作] で、[ユーザーが、インストールするプリンタードライバーの選択や ManagerPort 設定を行う] を選択した場合の手順を説明します。



LK-114_InstallTool が準備されていない場合は、管理者に確認してください。

LK-114_InstallTool の起動とインストール対象選択画面

管理者から配布された LK-114_InstallTool の [invoke.exe] をダブルクリックすると、インストール対象選択画面が表示されます。



項目	内容
LK-114_ManagerPort のインストール	<p>LK-114_ManagerPort をインストールします。 詳しくは、「LK-114_ManagerPort のインストール」(p. 6-16) をごらんください。</p> <p> ...</p> <p>ひとつこと すでにインストールされている LK-114_ManagerPort のバージョンより新しい場合は、項目が [LK-114_ManagerPort のアップデート] と表示されます。</p>

項目	内容
ドライバーのインストール	<p>プリンタードライバーをインストールします。 詳しくは、「プリンタードライバーのインストール」(p. 6-19) をごらんください。</p> <p> ...</p> <p>ご注意 LK-114_ManagerPort がインストールされていない場合は、プリンタードライバーのインストールはできません。</p>
LK-114_ManagerPort Settings を起動	<p>LK-114_ManagerPort の設定を行います。 詳しくは、「LK-114_ManagerPort の設定」(p. 6-22) をごらんください。</p> <p> ...</p> <p>ご注意 LK-114_ManagerPort がインストールされていない場合は、LK-114_ManagerPort の設定はできません。</p>

6.3.1 LK-114_ManagerPort のインストール

管理者から配布された LK-114_InstallTool を使用して、LK-114_ManagerPort をインストールします。

LK-114_InstallTool が準備されていない場合は、管理者に確認してください。

 ...

ひとこと

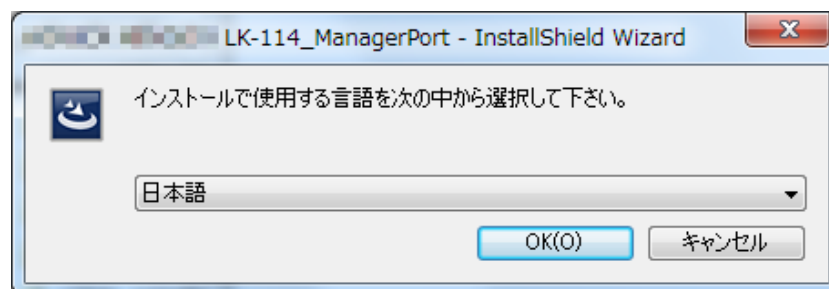
管理者権限を持つユーザーコンピューターの場合は、[LK-114_InstallerCreateTool] > [InstForm] > [LK-114_ManagerPort] フォルダー内に存在する [Setup.exe] からインストールできます。

インストール手順

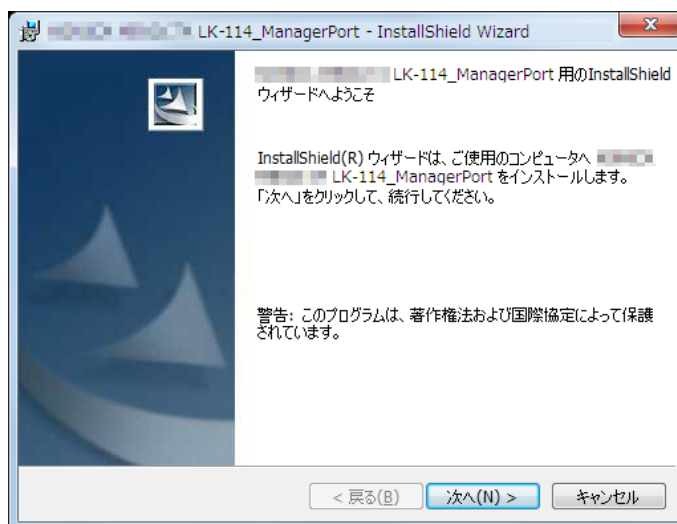
- 1
- LK-114_InstallTool のインストール対象選択画面で [LK-114_ManagerPort のインストール] をクリックします。

 - アップデートの場合は、[LK-114_ManagerPort のアップデート] をクリックします。
 - インストール対象選択画面について詳しくは、「LK-114_InstallTool の起動とインストール対象選択画面」(p. 6-15) をごらんください。

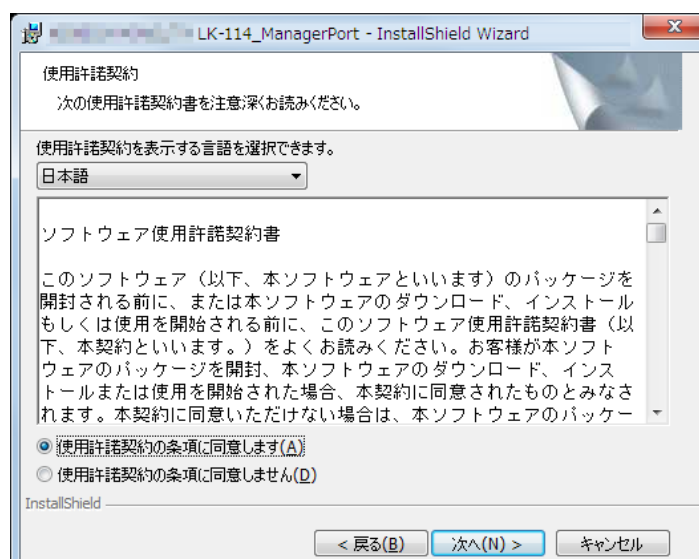
- 2 インストール開始画面で「はい」をクリックします。
- 3 「日本語」を選択し、「OK」をクリックします。



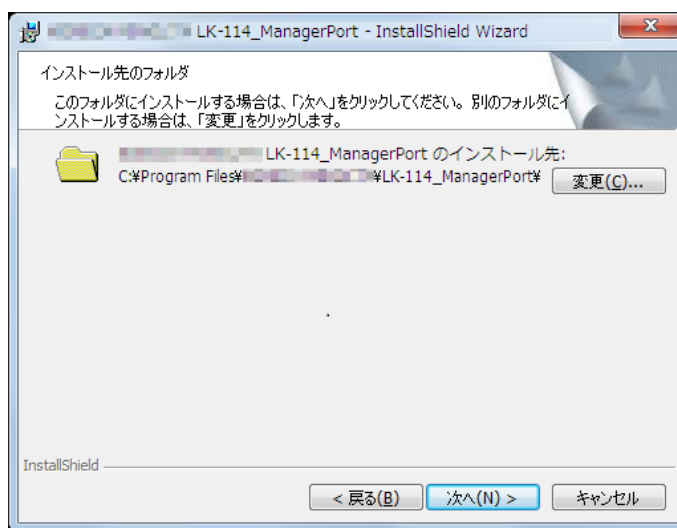
- 4 「次へ」をクリックします。



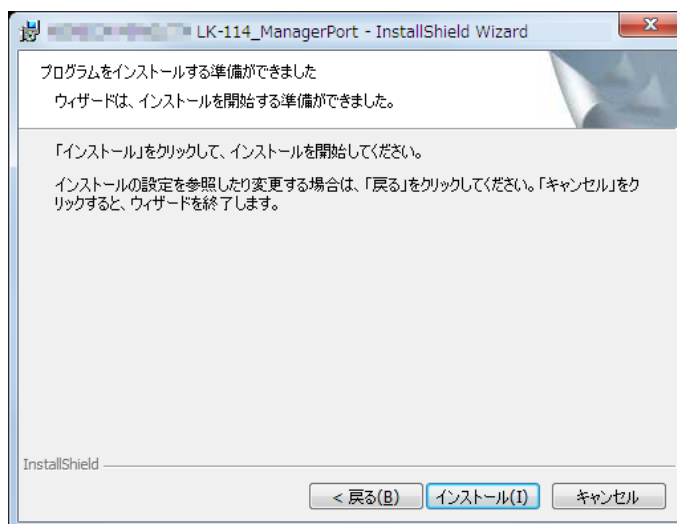
- 5 「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。



- 6 インストール先のフォルダーを確認します。
- 別のフォルダーにインストールする場合は、[変更] をクリックし、フォルダーを設定します。

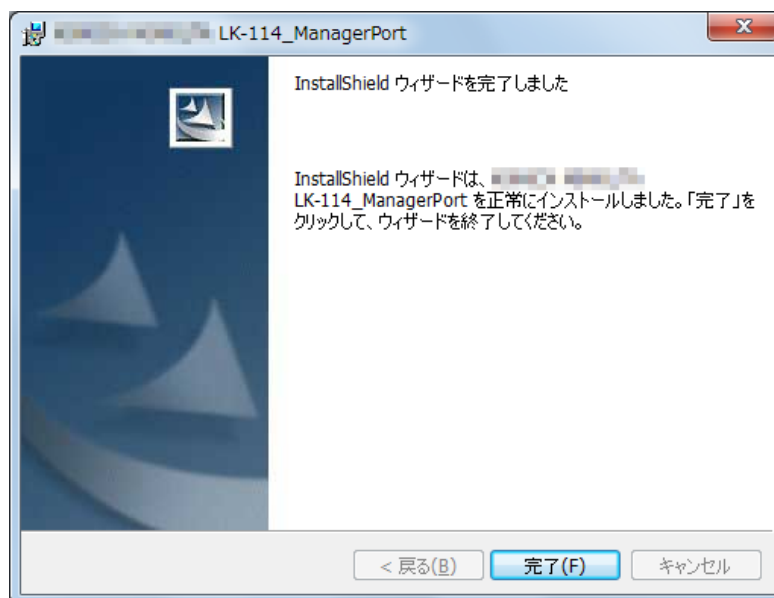


- 7 [次へ] をクリックします。
- 8 [インストール] をクリックします。



LK-114_ManagerPort のインストールが開始されます。インストールが終了すると完了画面が表示されます。

9 完了画面で「完了」をクリックします。



LK-114_InstallTool のインストール対象選択画面に戻ります。

6.3.2 プリンタードライバーのインストール

管理者から配布された LK-114_InstallTool を使用して、プリンタードライバーをインストールします。

LK-114_InstallTool が準備されていない場合は、管理者に確認してください。



ひとこと

管理者権限を持つユーザーコンピュータの場合は、フォルダー内に存在する [Setup.exe] からインストールできます。

インストール手順

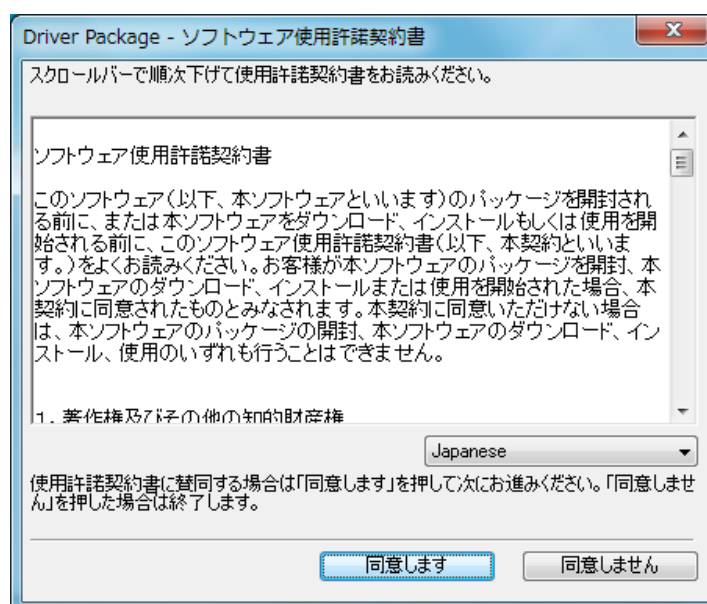
プリンタードライバーをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- ✓ コンピューターにLK-114_ManagerPortがインストールされていること

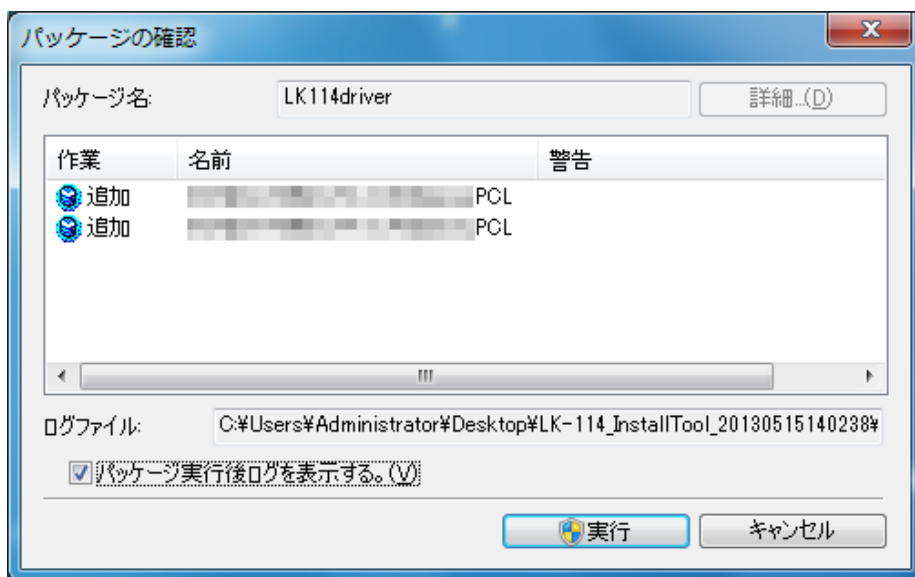
1 LK-114_InstallTool のインストール対象選択画面で「ドライバーのインストール」をクリックします。

- インストール対象選択画面について詳しくは、「LK-114_InstallTool の起動とインストール対象選択画面」(p. 6-15) をご覧ください。
- LK-114_InstallerCreateTool で複数のプリンタードライバーを選択した場合は、プリンタードライバー選択画面が表示されます。インストールするプリンタードライバーを選択してください。

2 「同意します」をクリックします。

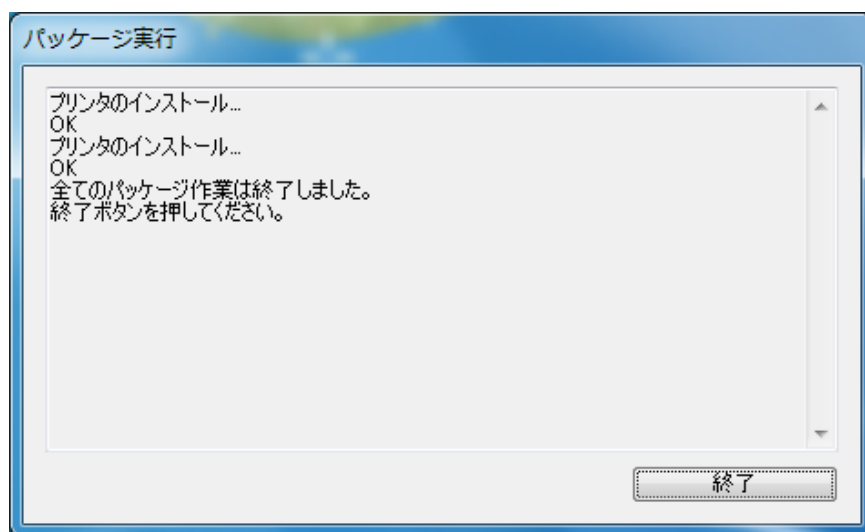


- 3 Driver Packaging Utility で作成したプリンタードライバーセットファイルを選択し、[実行] をクリックします。



インストールが開始されます。

- 4 [終了] をクリックします。

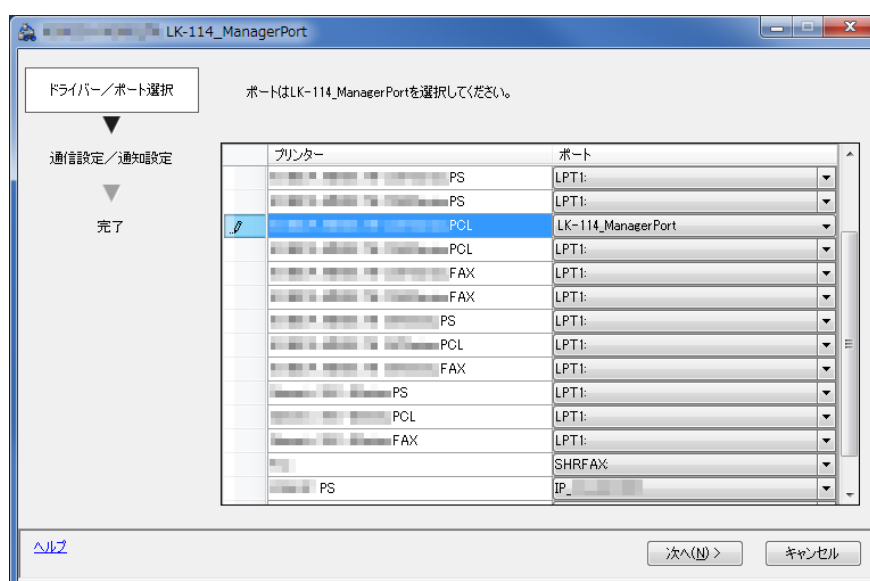


LK-114_InstallTool のインストール対象選択画面に戻ります。

6.3.3 LK-114_ManagerPort の設定

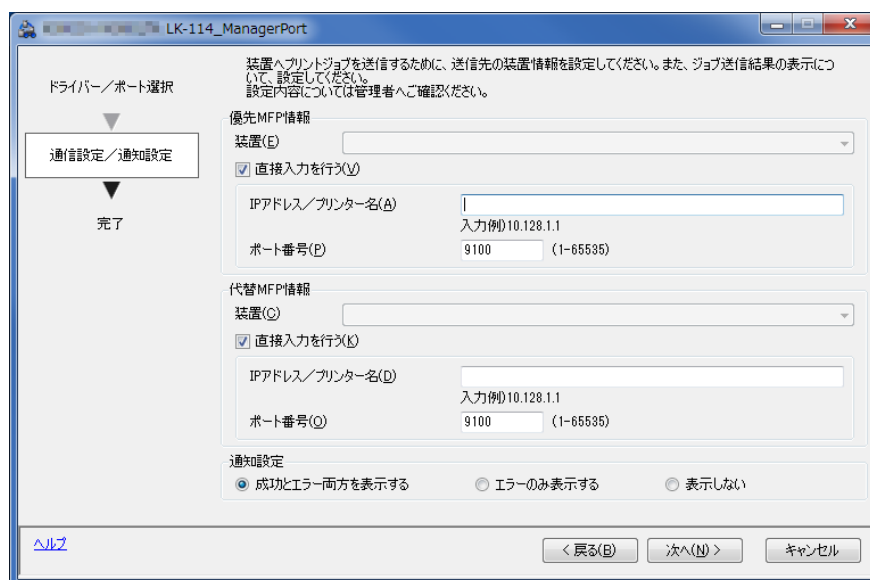
LK-114_ManagerPort のインストールが完了したら、引き続いて LK-114_ManagerPort の設定を行います。

- 1 LK-114_ManagerPort の設定画面を表示します。
 - LK-114_InstallTool から表示する場合：インストール対象を選択する画面で [LK-114_ManagerPort Settings を起動] をクリックします。装置定義ファイル選択画面が表示された場合は、該当する装置定義ファイルを選択してください。
 - スタートメニューから表示する場合：[スタート] – [KONICA MINOLTA] – [LK-114_ManagerPort] – [LK-114_ManagerPort Settings] を選択します。
- 2 使用するプリンターのポートを [LK-114_ManagerPort] に変更し、[次へ] をクリックします。
 - LK-114_InstallTool でプリンタードライバーをインストールした場合は、[LK-114_ManagerPort] が選択されていることを確認します。



3 プリントジョブの送信先 [優先 MFP 情報] [代替 MFP 情報] を指定します。

- 装置定義ファイルがある場合は、[装置] リストから選択します。
- 装置定義ファイルがない場合は、[直接入力を行う] をチェックし、IP アドレスを入力します。[ポート番号] は本体の印刷ポートを入力してください。
- [代替 MFP 情報] は、必要に応じて入力します。
- 手順 2 のドライバー／ポート選択画面で [LK-114_ManagerPort] を選択したプリンターに適合したプリンターを指定してください。

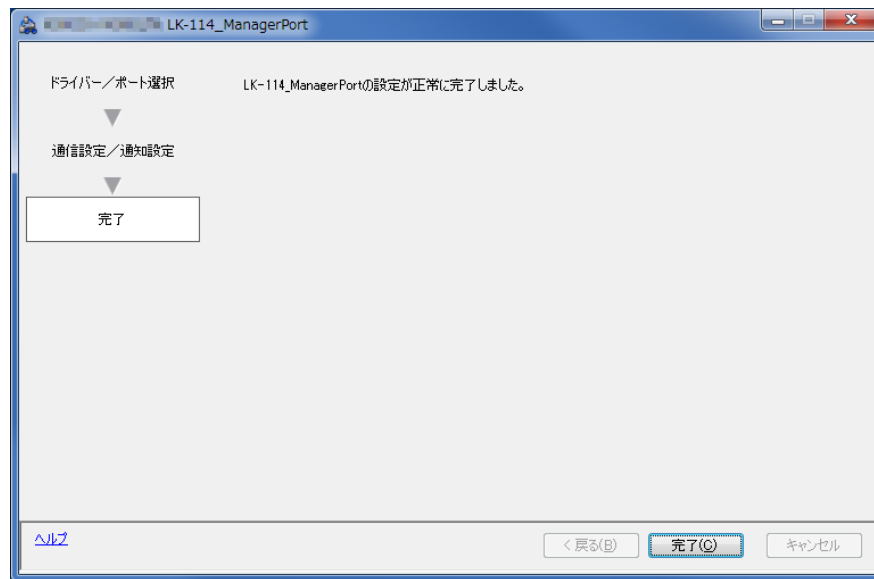


[装置] リストから選択した場合は、IP アドレスとポート番号が自動で表示されます。

4 [通知設定] で、プリントジョブを送信したときのメッセージを表示するかどうかを選択します。

5 [次へ] をクリックします。

6 「完了」 をクリックします。



...

ひとつこと

LK-114_ManagerPort の設定完了後、印刷を行うとき、LK-114_ManagerPort を指定したプリンターを選択することで、LK-114_ManagerPort 経由の印刷が実行されます。



...

ひとつこと

装置定義ファイルについて詳しくは、「装置定義ファイルについて」(p. 10-1) をご覧ください。

7 プリンタードライバー／LK-114_ManagerPort のアンインストール

7.1 プリンタードライバーのアンインストール

コンピューターからプリンタードライバーを削除します。

アンインストールの手順

アンインストールする前に、以下を確認してください。

✓ 管理者権限で Windows にログオンしている

- 1 [デバイスとプリンター] 画面を表示します。
 - Windows 7/Vista の場合：[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] を選択します。
 - Windows 8.1 の場合：スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロールパネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンター] を選択します。
- 2 削除したいプリンターを右クリックし、[デバイスの削除] を選択します。
- 3 コンピューターを再起動します。

7.2 LK-114_ManagerPort のアンインストール

コンピューターから LK-114_ManagerPort を削除します。

アンインストールの手順

アンインストールする前に、以下を確認してください。

- ✓ 管理者権限で Windows にログオンしている
- ✓ LK-114_ManagerPort 設定 のドライバー／ポート選択画面で [LK-114_ManagerPort] が使用されていないこと

- 1 プログラムをアンインストールする画面を表示します。
 - Windows 7/Vista の場合：[スタート]－[コントロールパネル]－[プログラムと機能] または [プログラム] を選択します。
 - Windows 8.1 の場合：スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ]－[コントロール パネル]－[プログラム] の [プログラムのアンインストール] を選択します。
- 2 LK-114_ManagerPort を選択し、削除を実行します。
- 3 コンピューターを再起動します。

8 操作方法

8.1 ユビキタスプリントでできること

ユビキタスプリントでは、以下のことができます。

- プリントジョブをストレージ機へ蓄積する (p. 8-2)
- プリントジョブをクライアント機で印刷する (p. 8-4)
- 蓄積したプリントジョブの一覧をクライアント機で確認する (p. 8-4)
- 蓄積したプリントジョブの印刷設定をクライアント機で変更する (p. 8-4)
- 蓄積したプリントジョブをクライアント機で削除する (p. 8-8)



...

ひとつこと

同一のユビキタスグループ内すべての本体で、ストレージ機およびクライアント機として利用できます。

8.2 プリントジョブをストレージ機へ蓄積する

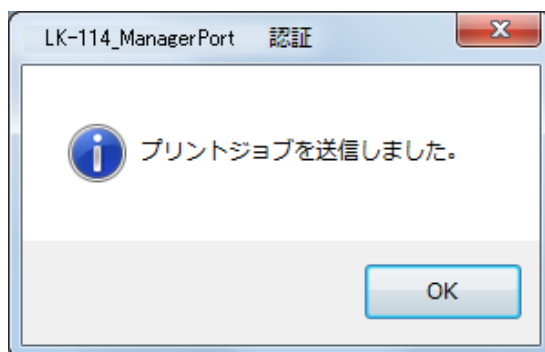
ストレージ機に、プリントジョブを蓄積します。

プリントジョブを蓄積する

プリントジョブを蓄積する前に、以下のことを確認してください。

- ✓ ユビキタスプリント機能を利用するためのプリンタードライバーおよび LK-114_ManagerPort のインストールがされていて、LK-114_ManagerPort の設定が済んでいる

- 1 蓄積したいファイルを開きます。
- 2 ソフトウェアのメニューから、印刷を実行します。
 - ストレージ機に設定されている本体を選択し、[OK] をクリックします。プリントジョブがストレージ機へ送信され、蓄積が完了すると、完了画面が表示されます。
- 3 [OK] をクリックします。



通信確認ができず通信エラーが発生した場合

LK-114_ManagerPort で設定した優先送信先、代替送信先への通信確認ができず、プリントジョブがストレージ機に蓄積できなかった場合は、メッセージ画面に「プリントジョブを送信できませんでした。」と表示されます。

[OK] をクリックすると、プリントジョブが自動的に削除されます。

送信先の通信を確認し、再度印刷を実行してください。

データ送信中に送信エラーが発生した場合

データ送信中に送信エラーが発生した場合は、メッセージ画面に「プリントジョブを送信できませんでした。」と表示されます。

[OK] をクリックすると、プリントジョブはスプーラーにエラーとして残ります。

送信先の通信を確認し、再度印刷を実行してください。

8.3 クライアント機で印刷する

ユーザーのコンピュータからストレージ機に蓄積したプリントジョブをクライアント機の操作パネルで操作して印刷します。ストレージ機でも印刷できます。



ご注意


ストレージ機に蓄積したプリントジョブをクライアント機で印刷する場合、BOX 印刷やセキュリティー印刷はできません。



印刷設定の変更について

プリントジョブは、印刷設定を変更して印刷することができます。詳しい手順は、「プリントジョブを印刷する」(p. 8-5) をご覧ください。

印刷設定画面で変更できる項目は以下のとおりです。



項目	内容
部数	印刷部数を変更できます。
印刷	〔片面〕 または 〔両面〕 を選択できます。
カラー	〔ブラック〕 または 〔フルカラー〕 を選択できます。  ... ご注意 プリンタードライバーで画像処理を行っている場合は、〔カラー〕 の設定を変更しても反映されません。

項目		内容
仕上り	ステープル	[しない] [コーナー] [2 点] のいずれかを選択します。
	パンチ	[しない] [2 穴] [3 穴] [4 穴] のいずれかを選択します。  ... ひとつこと 本体の機種によって、表示される設定項目は異なります。
位置指定	ステープル / パンチ	表示されるステープル位置とパンチ位置の組み合わせの中から選択します。  ... ひとつこと 仕上り設定の設定内容によって、表示される設定項目は異なります。



ご注意

クライアント機にフィニッシャーが装着されていない場合、[仕上り] [位置指定] の設定はできません。



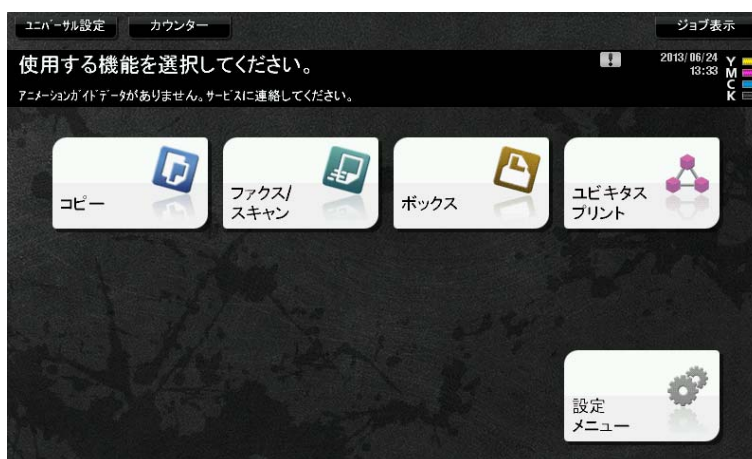
ご注意

PS ドライバーでストレージ機に蓄積された文書は、クライアント機での印刷設定の表示および印刷設定の変更はできません。(蓄積時の PS ドライバーによる設定が有効になります。)

プリントジョブを印刷する


- 1 クライアント機の操作パネルで、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をタップします。
- 2 メニューキーを押します。
トップメニューが表示されます。

3 [ユビキタスプリント] をタップします。



4 印刷するプリントジョブを選択します。



- [リスト更新] をタップすると、プリントジョブの一覧が最新情報に更新されます。
-  ([印刷設定]) をタップすると、印刷設定画面が表示され、プリントジョブの印刷設定を変更できます。
- [全解除] をタップすると、プリントジョブの選択が解除されます。
- [全選択] をタップすると、すべてのプリントジョブが選択されます。
- [状態確認] をタップすると、ユビキタスグループの本体の状態を確認できます。

5 操作パネルの〔スタート〕を押します。



...

ご注意

同一ユーザーが複数のクライアント機に同時にログインした場合、プリントジョブの操作や印刷ができない場合があります。



...

ひとつこと

ストレージ機の空き容量が少なくなると、操作パネル上部に「プリントストレージ機の空き容量が少なくなっています。〔状態確認〕キーで詳細を確認できます。」と表示されます。プリントジョブの一覧画面で〔状態確認〕をタップしてください。



...

ひとつこと

クライアント機のプリント受信ポートが利用中の場合は、ユビキタスプリントでの印刷は順番待ちとなります。

8.4 プリントジョブを削除する

プリントジョブをストレージ機から削除します。

プリントジョブを削除する

- 1 クライアント機の操作パネルで、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をタップします。
- 2 メニューキーを押します。
- 3 [ユビキタスプリント] をタップします。
- 4 削除するプリントジョブを選択し、[削除] をタップします。



- [リスト更新] をタップすると、プリントジョブの一覧が最新情報に更新されます。
- [全解除] をタップすると、プリントジョブの選択が解除されます。
- [全選択] をタップすると、すべてのプリントジョブが選択されます。

- 5 確認画面で [OK] をタップします。

9 トラブルシューティング

9.1 印刷時のエラーメッセージと対策

エラーメッセージ	原因	対策
プリントジョブを送信できませんでした。(コンピューターからストレージ機へプリントジョブを送信時)	LK-114_ManagerPort で設定した優先送信先、代替送信先への通信確認ができず、プリントジョブがストレージ機に蓄積できなかった。	ユーザー：[OK] をクリックすると、プリントジョブが自動的に削除される。 送信先の通信を確認し、再度印刷を実行する。
	データ送信中に送信エラーが発生した。	ユーザー：[OK] をクリックすると、プリントジョブはスプーラーにエラーとして残る。 送信先の通信を確認し、再度印刷を実行する。
クライアント機でトラブルが検出されました。 主電源を OFF/ON して解除してください。 解除できない場合は、管理者に連絡してください。(クライアント機操作時)	クライアント機で致命的なエラーが発生している。	ユーザー：クライアント機を再起動する。 管理者：LK-114_SetupTool でクライアント設定を確認する。または、本体でクライアント設定を確認する。
プリンタ受信ポートが使用不可の状態です。 管理者に連絡してください。(ストレージ機/クライアント機操作時)	本体のポートが使用できない。	管理者：LK-114_ManagerPort でポートの設定を確認する。
プリントストレージ機でトラブルが検出されました。 プリントストレージ機の主電源を OFF/ON して解除してください。 解除できない場合は、管理者に連絡してください。(ストレージ機操作時)	ストレージ機で致命的なエラーが発生している。	ユーザー：ストレージ機を再起動する。 管理者：LK-114_SetupTool でストレージ設定を確認する。または、本体でプリントストレージ設定を確認する。
プリントストレージ機能が無効となっています。(ストレージ機操作時)	プリントストレージ機の設定が無効になっている。	管理者：LK-114_SetupTool でストレージ設定を有効にする。または、本体でプリントストレージ機設定を有効にする。
通信タイムアウトが発生しています。 管理者に連絡してください。(クライアント機操作時)	処理動作がタイムアウトした。	管理者：LK-114_SetupTool の管理者設定で、タイムアウトの設定値を変更する。または、本体で接続タイムアウト設定の設定値を変更する。
ユビキタスグループ設定不一致です。 管理者に連絡してください。(クライアント機操作時)	プリントストレージ機に登録されているユビキタスグループ設定に、クライアント機が登録されていない。	管理者：LK-114_SetupTool でストレージ機と同じユビキタスグループに本体を登録する。または、本体でストレージ機と同じユビキタスグループに本体を登録する。

エラーメッセージ	原因	対策
操作中です。 しばらく待ってから再度操作してください。(ストレージ機/クライアント機操作時)	本体が操作中のため、要求を受付けられない。	ユーザー：再度、操作をやり直す。
プリントストレージ機が起動中です。 しばらく待ってから再度操作してください。(ストレージ機操作時)	ストレージ機が起動中。	ユーザー：ストレージ機の起動完了を確認してから、再度、操作する。
まもなく登録できる全体文書数が上限になります。 管理者に連絡してください。(ストレージ機操作時)	10,000 件の 70%以上の文書が登録されている。	管理者：文書一覧画面で、不要な文書を削除する。
まもなくプリントストレージ機で使用する HDD 容量が上限になります。 管理者に連絡してください。(ストレージ機操作時)	HDD 容量 5GB の 70%以上の文書が登録されている。	管理者：文書一覧画面で、不要な文書を削除する。
まもなく登録できる文書数が上限になります。 文書を削除してください。(クライアント機操作時)	ログインしているユーザーの文書上限、100 件の 70%以上が登録されている。	ユーザー：文書一覧画面で、不要な文書を削除する。
処理できなかった文書があります。しばらく待ってから再度操作してください。(ストレージ機操作時)	対象の文書がストレージ機で使用中のため、処理動作が完了できなかった。	ユーザー：再度、操作をやり直す。

10 付録（管理者用）

10.1 装置定義ファイルについて

装置定義ファイルは装置情報が書き込まれた XML 形式のファイルです。装置情報を作成しておく、LK-114_ManagerPort の設定で装置情報の入力が容易になります。

装置定義ファイルは、必要に応じて作成してください。

配布時、作成した装置定義ファイルは、LK-114_InstallTool のフォルダーと同じ階層に配置してください。

XML タグの構成要素は以下のとおりです。

Type	Tag	Remarks
XML 宣言	<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>	XML のバージョンおよびエンコード
階層構造	<DeviceSettings>	
	<Storage>	ストレージ機能が有効な本体を記述
	<MFP>	
	<Address>	装置の IP アドレスまたはプリンター名を記述
	<Port>	装置のポートを記述
	<Name>	装置の説明を記述
	<Client>	ストレージ機能が無効な本体を記述
	<MFP>	
	<Address>	装置の IP アドレスまたはプリンター名を記述
	<Port>	装置のポートを記述
	<Name>	装置の説明を記述

- 装置定義ファイルを作成する場合は、以下の点に注意してください。
- 本体の装置情報を追加する場合は、<MFP> タグの単位で追加します。<MFP> タグは本体の台数に応じて複数の記述ができます。
 - <Storage> タグ、<Client> タグの本体装置情報を LK-114_ManagerPort 通信設定画面の [装置] リストに表示します。
 - [優先 MFP 情報] の [装置] リスト：<Storage> タグの本体装置情報
 - [代替 MFP 情報] の [装置] リスト：<Storage> タグの本体装置情報 + <Client> タグの本体装置情報
 - [装置] リストの表示形式は、<Name> タグの値 + (<Address> タグの値) です。

レイアウトサンプルを以下に示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<DeviceSettings>
  <Storage>
    <MFP>
      <Address>192.168.1.10</Address>
      <Port>9100</Port>
      <Name> 入り口の複合機 </Name>
    </MFP>
  </Storage>
  <Client>
    <MFP>
      <Address>192.168.1.11</Address>
      <Port>9100</Port>
      <Name> 南側の複合機 </Name>
    </MFP>
    <MFP>
      <Address>192.168.1.12</Address>
      <Port>9100</Port>
      <Name> 窓側の複合機 </Name>
    </MFP>
    <MFP>
      <Address>192.168.1.13</Address>
      <Port>9100</Port>
      <Name>10 階の複合機 </Name>
    </MFP>
  </Client>
</DeviceSettings>
```



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
製造元
コニカミノルタ株式会社